

平成27年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書

1. 平成27年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書
1～2ページ
2. 平成27年度 特別養護老人ホームいいたてホーム事業報告書
3～22ページ
 - ホーム事業報告書（全体） 3～7
 - 各家生活報告（6ユニット） 8～18
 - 医務室事業報告書 19～20
 - 厨房事業報告書 21～22
3. 平成27年度 いいたて在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所事業報告書
23～26ページ
4. 平成27年度 やまゆり保育所事業報告書
27～29ページ
5. 平成27年度 事務室事業報告書
30ページ
6. 研修報告
31～33ページ

平成27年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書

1. 基本方針

原発事故から5年が経過、その影響は未だ運営や経営を圧迫している状況にある。

しかし、そうした状況にあっても、本年度の基本方針でもある「将来への施設運営継続に向け、様々な課題と問題を解決し安定した基盤づくりを行う。」については、人材確保が最優先事項であることから、職員募集に力を入れてきた結果、新卒者2名を次年度4月に採用することができた。今後も維持継続に向けた基盤づくりに努めて行く。

2. 事業内容

・理事会・評議員会・監事会の開催状況

理事会年4回、評議員会年3回、監事会年1回を基準に開催。

(1) 理事会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		理事	監事	
第1回	平成27年 5月27日	5	2	報告第1号 平成26年度第6回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成26年度社会福祉法人いいたて福社会事業報告について 議案第2号 平成26年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支決算について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について 議案第4号 福祉サービスに関する苦情解決体制に関する第三者委員の選任について
第2回	9月16日	7	2	報告第1号 平成27年度第1回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成27年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 平成27年度やまゆり保育所拠点区分会計補正予算について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について
第3回	11月30日	5	2	報告第1号 平成27年度第2回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 社会福祉法人いいたて福社会評議員の選任について 議案第2号 社会福祉法人いいたて福社会経理規程の一部変更について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会旅費規程の一部変更について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会給与規則の一部変更について 議案第5号 社会福祉法人いいたて福社会臨時雇用職員管理規則の一部変更について
第4回	平成28年 3月3日	7	2	報告第1号 平成27年度第3回理事会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成27年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 特定個人情報基本方針の策定について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会就業規則の一部変更について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会臨時雇用職員管理規則の一部変更について 議案第5号 平成28年度社会福祉法人いいたて福社会事業計画(案)について 議案第6号 平成28年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支予算(案)について 議案第7号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約の締結について

(2) 評議員会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		評議員	監事	
第1回	平成27年 5月27日	10	2	報告第1号 平成26年度第4回評議員会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成26年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について 議案第2号 平成26年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について
第2回	9月16日	9	2	報告第1号 平成27年度第1回評議員会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成27年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 平成27年度やまゆり保育所拠点区分会計補正予算について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会に就業する職員の就業時間等に関する細則の一部変更について
第3回	平成28年 3月3日	15	2	報告第1号 平成27年度第2回評議員会議事録の確認について 報告第2号 諸事業報告について 議案第1号 平成27年度特別養護老人ホームいいたてホーム拠点区分会計補正予算について 議案第2号 特定個人情報基本方針の策定について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会就業規則の一部変更について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会臨時雇用職員管理規則の一部変更について 議案第5号 平成28年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について 議案第6号 平成28年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支予算(案)について 議案第7号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約の締結について

(3) 監事会の開催状況

開催日	出席(人)	内 容
平成27年 5月21日	監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について ・平成26年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について ・理事会及び評議員会議事録について

・役員研修等

- 関係機関が主催する役員研修会に参加。
- 県等主催の役員研修に参加

1. 基本方針について

“今置かれている現状で、ご利用者の安全な生活を継続して行く”。また、“尊厳が保持されるとともに、居場所づくり、交流の場・ご利用者との関わりの時間を大切に、「ホームの家族」のスタイルを崩さず暮らしを支えて行く。”と云う本年度の方針については、ユニット数も職員数も大きな変動がなかったことから、いつもながらの普通の生活が維持できたと思います。

また、顔なじみの関係のなかで、「信頼関係」と「馴れすぎ」の介護に、時として悩むことがありましたが、再度、ユニットケアの本質に戻るため、各委員会や諸会議等で、職員の意識向上と介護技術を取り上げ改善に努めることで、生活の質を下げずに“いいたてホームならではの”の生活を提供できたと思います。

2. 現況について

本年度はご利用者45名、看護師3名、介護員32名のスタートとなり、9月に2名、2・3月に各1名ずつ新入居者を迎えることができました。

然しながら、震災後5年が経過、職員の長距離通勤問題と疲れ、また、職員の平均年齢が高くなると共に、ご利用者の状態も年々重度化して行く現況下においては、何かにすぎる思いでした。

それでも、職員の頑張りと使命感に伝えるべく、新たな福祉用具の活用や業務の見直しを行い、また、震災後から継続勤務している職員を大切に考え、無理せず今できる最良の介護をしていく方針で実践してきました。

今後も「いいたてホームならではの」のケアを継続して行くため、ご利用者が1回でも多く笑顔を見せてくれるよう、施設と云う概念に捉われず、職員と共存している「生活の場」であることを念頭に置き、原発事故から守らなければいけない「安全」「安心」の環境の場で、普通の生活を過ごせるよう努めて行きたいと思います。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	45	44	43	41	39	41	41	39	39	37	38	38
退去者数	1	1	2	2	0	0	2	0	2	0	1	0
新入居者数						2					1	1

(利用者の入居状況)

3. 重点目標について

(1) 重度化への取り組み

年々高齢となり身体機能の低下による重度化もありますが、認知症状の進行による重度化

が高くなってきています。1年前と比較し、出来ていたことが出来なくなってしまうことは、本人はもちろん、ケアをする職員も戸惑いながらのケアでした。

しかし、多職種間とのケア会議を行い、症状に対し早期に対処できるよう努めてきました。寝たきりにさせたくない、孤独を感じさせないケア、また、直面する問題等は必ず職員間で周知し、施設職員が同じケアが行えるよう取り組んできました。

(2) 暮らしに寄り添う

馴染みの環境だからこそ、馴れ過ぎないように個々を捉えたケアに努めてきました。

ご家族の面会の時間が増えるよう、今年度も行事への参加を呼び掛け、一緒に楽しめるよう努めてきました。

また、施設内だけの生活ではなく、外出の機会を増やし社会参加ができる環境に取り組んできました。

(3) 最期を迎える

今年度は、11名の方を見送りました。その人らしい最期を迎えられる大切な時間への支援をしてきました。

看護職、栄養士、厨房職員の協力を頂きながら、最期まで口から食べることが出来た方、褥創や壊疽状態の処置、「きれいな身体で逝きたいよね」と亡くなる前日まで入浴をし逝かれた方。

私たちは、看取りに慣れることなく、最期まで諦めないケアをしてきました。

4. 具体的な取り組み（会議・行事等）

① 職員会議

年月日	議 題 ・ 内 容
H27.4.30	今年度の事業計画（ホーム、厨房、各家）、各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会より活動計画（口腔、入浴、排泄、リスクマネジメント、感染症対策）
5.28	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～入浴委員会（お風呂の日について）、口腔ケア委員会（口腔ケア勉強会について）、排泄委員会（排泄マニュアルの見直しについて）、リスクマネジメント（移乗勉強会・アクシデント集計報告）、感染症委員会（手洗いについて）
6.25	各家の取り組み、厨房会議報告（一斉家料理について） 各委員会～口腔ケア委員会（口すぼめ体操について）、入浴委員会（温泉ツアー企画について）、排泄委員会（アセスメント見直し・足台作成について）、リスクマネジメント（移乗トランスファ勉強会・アクシデント集計）
7.30	各家の取り組み、厨房会議報告、 各委員会～リスクマネジメント（体圧分散、車いすの疑似体験勉強会について）、入浴委員会（お風呂の日実施報告）、口腔ケア委員会（唾液腺刺激体操について） 感染症対策委員会（食中毒予防三原則）、排泄委員会（手指消毒実施状況について等） 研修報告「老人福祉施設 在宅部研修会」（木幡久美子、斉藤 伸、菅野麻美） 「認知症高齢者対策研修」（江口真由美） 「ユニットリーダー研修」（菅野明洋）
8.29	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～口腔ケア委員会（口腔ケア体操（新バージョン）、排泄委員会（おむつ交換と手指消毒について、ポジショニング）、入浴委員会（リフト使用マニュアル、入浴シート見直し）、リスクマネジメント（アクシデント集計報告） 研修報告「福祉職員 初任者研修」（江口真由美） 「県社協・老人福祉施設協議会介護職員研修会」（菅野ミサ子、佐藤 恵） 「県社協・老人福祉施設協議会給食担当者研修会」（西 恵子）

9.24	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～リスクマネジメント委員会(上半期のマネジメントについて)、排泄委員会(排泄交換マニュアル、ポジショニング勉強会について)、入浴委員会(西特マニュアル作成について)、感染症対策委員会(感染対策について)、口腔ケア委員会(口腔ケア勉強会アンケートについて) 研修報告「機能訓練担当者会議」(菅野若菜) 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」(高池タミ子) 「虐待対応専門職チーム特養介護施設向け研修」(菅野若菜、触沢敏恵、小林明美)
10.29	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～口腔ケア委員会(口腔ケアアンケート、口腔ケア手順表について)、排泄委員会(ポジショニング勉強会、体圧分散勉強会について)、リスクマネジメント(内出血報告書について)、感染症対策委員会(インフルエンザ予防対策について) 研修報告「全国老人福祉施設研究会議」(高橋真由美、菅野奈津江) 「福祉職員キャリアパス対応生涯過程」(本名順子)
11.26	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～感染症対策委員会(インフルエンザ予防について)、入浴委員会(お風呂の日について)、排泄委員会(ポジショニングについて)、リスクマネジメント(アクシデント集計について)
12.25	各家の取り組み厨房会議報告 各委員会～入浴委員会(お風呂の日実施報告、西・北特浴について)、感染症対策委員会(ノロウイルス・インフルエンザ対策の実技)、排泄委員会(排泄用品の選定、ポジショニングについて)、口腔ケア委員会(口腔ケア勉強会について)、リスクマネジメント(ベッドリモコンのコード固定、アクシデント集計、今月の標語について) 研修報告「介護職員(4年以上)研修会」(菅野明洋、佐藤ミツイ)
H28.1.28	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～口腔ケア委員会(口腔ケア勉強会)、感染症対策委員会(インフルエンザ・ノロウイルス予防について)、入浴委員会(北棟特浴マニュアルについて)、リスクマネジメント(言葉づかいについて)、排泄委員会(プライバシー(排便管理)について)
2.25	各家の取り組み、厨房会議報告 各委員会～感染症委員会(インフルエンザ・ノロウイルスについて)、リスクマネジメント委員会(内出血報告書使用、アクシデント集計)
3.24	各家の取り組みと1年間の生活報告、厨房会議報告、各委員会より事業報告

② 家長会議

各家(ユニット)の家長が、現状の業務や勤務体制を見直す検討の場であり、直面した問題に現場レベルで具体的に話し合い改善してきた。

開催日	内 容
H27.4.20	年間活動計画について、ユニット勉強会について、年間行事について、家族会総会について、家料理、希望食等について
5.29	業務の見直しについて(西・北棟の夜勤業務等)、家料理について、環境委員会(ワックスかけ等について)
6.26	夏祭りについて、家料理について、7月の行事について
8.1	監査について、納涼祭について、敬老会について
8.24	年次休暇と勤務変更について、納涼祭の反省について、敬老会について
9.19	敬老会の反省、10月の行事食(バイキング)について
10.10	監査(指摘内容)について、買い物(利用者個人購入と家費の使用)について、介護用品、福祉用品の管理について、芋煮会、ミニ運動会について、その他
11.30	12月・1月の行事(そば打ち、クリスマス、新年会)について、高所掃除について
H28.1.13	100歳賀寿祝いについて、2・3月の行事について、家費について、今年度の反省と次年度の事業計画について
3.1	防災の日について、行事(ひなまつり)について、ユニット勉強会について、年間行事の食事について、環境委員会(ワックスかけ、居室掃除等)について

③ 行事

平成 27 年度行事内容

月日	内 容		場 所	参加者
4.9	花見外食 ドライブ	相馬（八幡神社）へ、リフト車 2 台に乗車し花見ドライブ。昼食は原町区の「レストランタイム」で食事を楽しみました。	相馬市・南 相馬市	12 名
4.17	花見外食 ドライブ	ぬくもりの家が花見を兼ねて川俣町（中央公園）へ。寿司弁当を買い、外で桜の花を見ながら昼食をとりました。	川俣町	6 名
4.24	花見ドライブ	遠出できない方を主に、リフト車 2 台に乗車し村内花見ドライブに出掛ける。其々自宅周辺を見られる方面とした。	飯館村内	9 名
4.29	家族会総会 花見昼食会	家族会総会后、各家で厨房手作りの花見弁当で、ご家族と一緒に食事を交え交流を深めました。	全ユニット	16 家族
5.7	柏餅づくり	西棟ホールで柏餅をつくる。軟食の方でも食べられるよう、栗餅風の柏餅を作り、殆どの方が食べることができました。	西棟	
5.19	外食ドライブ	各家ごとに外出の機会を設け、馴染みの職員とのドライブ。こもれびの家が、レストラン（レストランタイム）で食事し、道の駅（セテッテ鹿島）を見学してくる。	南相馬市	12 名
5.21	外食ドライブ	ひだまりの家のご利用者の希望にて川俣町へ外食ドライブ。普段、キザミ食やペースト食の方が、お店（吟哉）の親子丼や寿司を食べ満足笑顔で来られた。	川俣町	10 名
6.4	外出ドライブ	やすらぎの家が川俣方面に外出。長時間の外出と常食が難しい方でも、道の駅のアイスクリームを食べ大満足	川俣町	9 名
6.12	一斉家料理	厨房職員が各ユニットに出向き一緒に食事作り。野菜を切る皮をむく等の作業を行いながら食への楽しみの時間を作った。	全ユニット	全員
7.5	七夕昼食会	各棟で七夕昼食会を行う。そうめんを寿司桶に盛り付け、てんぷら、フルーツポンチ等を食しながら、カラオケを楽しんだ。経管栄養者もホールに移動しゆっくりと交流を図る	西・北棟ホ ール	入居者 全員
7.8	ホーム温泉 ツアー	初の試みで、生きがい作りを目的に、飯坂温泉（吉川屋）に日帰りで行ってきました。入浴介助で貸切風呂と露天風呂に入り、昼食はお膳でゆっくりと温泉気分を味わって来ました。	穴場温泉	利用者 7 職員 10
7.15	一斉家料理	2 回目の家料理は各家の希望メニューとし、ご利用者に合わせた食形態を考慮しての家料理となりました。	全ユニット	全員
7.19	お風呂の日	外出できない方に温泉気分を味わってもらおうと、ホームの一般浴を銭湯の雰囲気（紫陽花風呂）にして、お風呂を楽しんで頂き湯上りには冷たい飲み物で寛いで頂いた。	西棟特浴	10 名
8.20	納涼祭	ご利用者の体調を考慮し、涼しくなる時期に夏祭りの代りとして東棟ホールで納涼祭を行う。数多くの模擬店や金魚すくい夕食には鉄板焼き料理等、お祭り気分を味わい、最後に東棟玄関前庭で花火を見て楽しみました。	東棟ホール	全員
9.13	ホーム敬老会	職員の余興（大黒舞、芸者ワルツ、ギターとオカリナの演奏等）で楽しみ、昼食は厨房手作りのお祝い膳を頂きました。	西棟ホール	全員
10.7 13、22 27、28 30	外食ドライブ	各家ごとに楽しみの外食ドライブ（つきだて花工房や道の駅、吟哉、ジャスコ）を行うことで、職員との交流をより一層深められたと思います。また、普段とは違った環境での食事や外気浴では、普段とは違った笑顔など見せていました。	伊達市 川俣町 相馬市	35 名
10.18	バイキング食	厨房の手作りバイキング食の豪華さに驚きながら、目の前に盛り付けられた食事。皆、好きな物を選択し食べている様子は嬉しそうで普段より食事量も増えていました。	西・北 ホール	全員
10.21	「ラーメン屋」	全館停電にて、厨房職員が西棟ホールにて「ラーメン屋」の出張料理をして頂く。ご利用者の殆どがラーメンが好きで、大きな丼で召し上がっていました。	西棟ホール	全員
11.1	村文化祭	村文化祭（パルセ飯坂）へ作品出品したご利用者 3 名と出掛けました。ひだまりのご利用者の作品が見事村長賞に輝き、表彰式にも出席しました。また、他の 2 名も自分の作品を見て嬉しそうでした。	福島市	3 名

11.3	ホーム芋煮会 ミニ運動会	ミニ運動会では、玉入れやパン食い競争を行い、ご家族や職員と共に楽しまれ盛り上がりました。 昼食では、男性職員やご家族の方による餅つきを行い、つきたての餅を美味しく頂きました。厨房からは、手作りのローストビーフやおでん鍋の提供もあり目と舌で楽しみました。	東棟ホール	全員
12.20	クリスマス会	西・北棟合同のクリスマス会を行いました。ご利用者全員でクリスマスの衣装を着、ハンドベル演奏を披露した後、厨房手作りのローストチキン等頬張り、楽しく過ごしました。	西棟ホール	全員
12.23	そば打ち	年越しを前に、愚心会の皆さんがそば打ちのボランティアに来所。一緒にそば粉を練って楽しみ、茹で上がったおそばを食べながら皆さんとの交流を楽しみました。	西棟ホール	全員
12.27	餅つき	恒例の餅つきを西棟ホールで行いました。お供え餅と昼食に食べる餅をご利用者と共につき上げました。昼食にはクルミ、ジュウネン、お汁餅等で美味しく頂きました。	西棟ホール	全員
1.2	新年会	新年の顔合わせ。今年は、おみくじ（大吉・中吉・小吉等）を準備し、商品等も準備、一年の運試しに一喜一憂の初笑いとなった。昼食には、厨房からの正月弁当を味わいました。	西棟ホール	全員
1.14	だんごさし	職員が赤、黄・緑に染めた粉を小さくちぎり、ご利用者が一つずつ丸めミズノ木にさし、各家やホールに飾りました。	西棟ホール	10名
2.3	百歳祝い	ホームでは、7人目の百歳をお祝いしました。震災後、ホーム全体でのお祝いは初めてであり、県からの賀寿表彰の後、ホームのセレモニーを行った。職員の祝い舞踊や、厨房手作りのケーキ等でお祝いができました。	西棟ホール	全員
	節分「豆き」	賀寿祝いを行った後、「福は内」のみの声かけで、今年の年女（ご利用者96歳、84歳）が豆まきを行いました。	全館	全員
3.3	ひなまつり会	今年は風邪等の感染の心配もあり、交流をせず各家での昼食会を行った。厨房職員が目の前で寿司を握って出してくれました。	全ユニット	全員
3.11	防災の日	震災を忘れないために、食事の非常時の対応として、昼食は非常食の提供をすることで、振り返る時間を持ちました。	全館	全員

1. 生活全般について

4月の異動で4名の職員が入れ替わり新体制となりました。

精神的に不安定な方に対しての関わり方については、日々の過ごし方のケア内容を職員同士で話し合い、統一したケアを提供できるようにすることから始まりました。

まず、体重の維持管理をするため毎日体重測定を行い、その結果により食事に気を配り、また、精神面では、過剰過ぎない声掛けや対応に努め、本人らしく生活できるよう細やかな申し送りや、食事チェック表を作成。それを基に個々に合った支援をすることで、徐々に意思表示が出来るよう体制作りをしてきました。現在では、そんな私達を受け入れてくれ笑顔やジョークに伝えてくれる関係になりました。

一方、意思疎通が困難な方（問いかけに答えがない）に関しては、とても悩まされた一年でもありました。

この方は「今、何をして欲しいんだろう」と思い、色々と試みるものの上手く行くケースが少なかったため、どのようにしたら寄り添ったケアが出来るのか考えさせられました。

2. 食事について

一人ひとりの食事形態の見直し、摂取状態の変化にも合わせることで、食べることへの意欲に繋げてきた。例えば、ペーストの方でも食事内容を工夫し、形のあるものを提供することで、美味しく食べて頂こうと随時検討してきました。また、摂取量に問題のある方に対しては、食事チェック表を作り、それを基に申し送りで提供方法を統一したり、多職種と相談しながら状態に合わせ食事提供が出来たと思います。

春と秋にドライブを兼ね外出に出掛けましたが、普段と違った雰囲気と環境の中で、普段では考えられない食べっぷりを見ることができ、とても参考になりました。

家料理では、家庭的な雰囲気を味わって頂くため、前年度のようにご利用者の好むメニューの提供と同じ目線で調理することにより、より一層楽しみに繋がったことと思います。更に今後は時節の食材をふんだんに使った料理が出来ればと思います。

昼食前の食前体操では、恥ずかしくて行えない方や発声が出来ない方に対し、独自の発語を試みましたが、励行するまでには至りませんでした。しかし、こちらからアクションを掛けることで、相手が笑顔となることから、概ね、意欲を出させることについては出来たのではないかと思います。

3. 排泄について

日頃から肌の観察を行い、個々に合ったパットの使用や、その日の体調や状態に合わせてパットを提供することで、皮膚トラブルを防ぎ、違和感がなく快適に過ごせて頂けたと思います。

また、定期的に排便コントロールを行うことで、排泄のすっきり感や爽快感に努めることが出来たと思います。

プライバシーの配慮に関しては、今後も普段の言葉遣いや声のトーン、食事時間や職員間での伝達時、その他の場でも、話題に挙げないよう留意して行きたいと思います。

4. 入浴について

個々に合った入浴を提供するため、その方にとってどのような入浴方法（個別浴か機械浴か）が適しているか、また、どのような補助用具を利用すべきか、多職種と相談することで本人に合った入浴法にたどり着き、安心して楽しく入浴することが出来たと思います。

また、入浴剤や入浴後のローションで対応することにより、肌の保湿効果と皮膚トラブルを防ぐことが出来ました。

今年度は、その他に浴室内に季節感を感じ取れる環境を提供したいと、周りに季節物を置きましたが、これだと云うような環境づくりまでには至らなかったことが残念でした。

5. 行事の取り組みについて

震災後、百歳賀寿のお祝いをホーム全体ですることができました。

4月から少しずつ準備を重ね、本人の体調管理等にも職員が一丸となってお手伝いさせて頂きました。賀寿当日は、ご家族が準備した着物を着用し、懐かしい写真をスライドで流し、その方の人生が見えたような気がしました。このような貴重なお祝いに関われたことは、介護の仕事をしていて幸せだなと思った瞬間でした。

納涼祭では、甚平や浴衣姿で参加し、涼しげな雰囲気でも長時間、楽しく過ごすことができたと思います。

また、芋煮会では、ご家族も参加した競技で盛り上がり、普段見られない笑顔と歓声があり、とても良い表情を見ることが出来ました。

6. 一年を振り返って

今年度になり間もなくして職員4名体制となりました。

何かと他ユニットからの業務協力を頂きながら成り立ってきた一年でもありました。

他ユニットの視線だからこそ分かる私達の家との違いについて、伝えて頂き、改善に努めることもできました。

今後も、出来ること・出来ていることを継続できるよう、また、体調や精神面でのフォロー、メンタル面で支えになれるよう、十分なコミュニケーションを図りながら、笑顔が自然にできるケアに取り組んでいきたいと思っています。

《ご利用者のつぶやきから》

「おら・なんぼまで生きんだが」と笑顔で話ながら、黙々と縫物をされている姿を見ると、これからも後悔しないケアと、一日一日を楽しく過ごして頂けるよう支援して行かなきゃと思います。

1. 生活全般について

ご利用者7名、職員5名からの新たな出発。退居や入居が見られたが人数に変化はなく、目標の「笑顔を絶やさず、涙するのと一緒に、今日も良い一日だった」と思って頂けるようにと職員一同サポートにあたって来ました。

常に「楽しいと思ってくれるものは何だろう」と考え、職員の得意とする分野で寄り添い、炬燵が一か所では窮屈だろうと増やしたり、天気の良い日は外気浴などと。ご利用者への想いが行動に繋がる事を改めて感じました。

寄り添い方、声かけ一つにしても上から目線では相手は納得しない、訴えに対しては「何をしたいのだろう」と思いやって会話をしなければならず、その対応の難しさはある二人のご利用者から勉強させて頂きました。

今後も自分に余裕を持って相手の話を傾聴し、他職の意見も交えながら気持ちに余裕がある介護に努めて行きたいと思えます。

2. 食事について

食べる事は生きる上で一番大切な事、食事途中で咽ってしまったり、配膳前に食べ易いようにと勝手に形を崩してしまい、何を食べているか分からないような悲しい食事になってしまった事が見られました。今では「今日のおかずは何々ですよ」と話し掛け、「どのお皿が合うかな」「これでは咽るかも」と思った時は、「この方が食べ易いですか」「小さくしますか」と尋ね、本人が納得した上で手を加え楽しく食事を摂って頂いています。

家料理に関して協力的で「どれ、何すれば良いんだ。持って来い」と快く引き受けて下さり、とても美味しく皆さんと一緒に料理を作る事が出来ました。

食事テーブルの高さについては、一つのテーブルを炬燵に変えた事により温かさに関しては良かったのですが、高さが低くなり食べる姿勢が悪くなってしまいう事に繋がり、炬燵の高さ調整用の足を付け改善してきました。

口腔ケアについての反省は、「準備だけして置けば電動ブラシだし出来るでしょう」と甘い考えを持ち最終確認を怠ってしまった時があり、「やってしまった、こんなに歯石が溜まってしまって」と深く反省しました。「何でも出来る方でも本当は角度を変えた支援を必要としているかも」との考えで前に進んで行ければと思います。

3. 排泄について

昨年に引き続きオムツゼロを目指し行って来ました。トイレ移動の際に如何にして本人に苦痛なく出来ないものかと考え、隣の家の職員にお手伝い頂いたり、福祉用品を使ったりと気持ち良く排便出来るよう試みています。また、「昨晚奇妙な行動が見られたんですよ」などの申し送りを受け、排便チェック表を確認すると「あ、出てない。だからか」と気づき、排泄はとても大切な事だと改めて感じました。

ある方については、私たちが如何に楽をさせて頂いて居たことか。一日十数回トイレに通い用を済ませていたが体調変化により尿カテーテルに変更、カテーテルの理解が出来ず「トイレに行きたいんだ、小便したいんだ」と大声で訴え、「カテーテルが入っているのですよ」と伝えても、その方にとってはカテーテルなんて関係なく、とにかくトイレに行きたいだけなんだと考えさせられた一年間でした。

言葉遣いに関しても、ついつい大きな声で確認をしてしまうと云ったことが多々見られたので改めて大きな目標の一つとして行って行きたいと思えます。

4. 入浴について

「あ〜良い風呂だった、また入りたいな」と思って頂けるような入浴を目指し行ってきましたが、現実には「入りたいね。」の言葉が頻繁に聞かれていました。入りたいと思う原因に「洗身中寒い」「服を脱ぎ着するのが面倒だ」など様々です。しかし、嫌々ながらも湯船に入ってしまうと「気持ち良いな〜」と細目になる。

気持ち良く利用して頂くための対策として、丁寧な声掛けや、直接湯船に入り温まってから自分で身体を摩るなどの入浴形態に変更し様子を見ています。他に入浴中に音楽を流し楽しんで頂いたり、一緒に口ずさんだり、入浴剤として、柿の皮を干したものをお風呂に入れたり、柚子湯、菖蒲湯、林檎湯などで楽しみ、入浴後は乾燥防止として保湿クリームを塗布、皮膚トラブルを未然に防ぐように留意してきました。また、異常を認めた場合は速やかに医務に報告し対応してきました。今後も安心且つ安楽でお風呂を楽しんで頂けるようお手伝いをしていきたいと考えています。

5. 行事等の取り組みについて

食事を兼ねた花見ドライブや夏祭り、芋煮会等、様々な行事に参加する事で、他の家との交流を深める事が出来ました。特に思い出深いのは、相馬方面へ食事と海を見せたいとの目的で計画を立てた行事。出掛ける間際になって1台の車がエンジントラブル、出発時間が遅くなり海を見せたいという目的を果たせぬまま帰る羽目に、その際、またもやエンジントラブル発生、無事帰って来る事が出来ましたが、ご利用者の目に映ったのは「雁首揃えて何やって居るもんだか」と言葉通りの光景でした。

大きな行事以外にも、干し柿作りや野菜作り、その野菜を使っての家料理、誕生会など行う事が出来ました。そんな中で、これまで行事やレクには参加拒否されていた方が自ら参加したいと回数が増えた事はとても嬉しい出来事でした。逆に、ちょっと残念な事は誕生会などにご家族の方の参加が少なかった事です。次年度はご家族から「是非参加させて下さい。」との返事が頂けるよう働きかけて行きたいと思えます。

6. 一年間を振り返って

長いようで短かった一年間でした。嬉しい事、悲しい事、悔しい事など沢山の思い出が頭を過ります。

誕生日を間近に控えながら旅立った方。最愛の息子さんに看取られての出発でした。

6月には体調不良により2週間の入院を余儀なくされた方。9月には新たな入居者。年明けには数名の方がインフルエンザで隔離状態になり心細い思いをさせてしまった事など思い出されます。

この一年間、付き合い方の難しさを思い知らされた感じでした。

他人でも関わり方に寄って「今日はありがとう」「もう帰るのか、気をつけてな」と優しい言葉を掛けてくれる方、「誰々さん」「え、今の俺の名前、いつ覚えたのだろう」と頼りにしてくれる方に対し、「今日はどのような声掛けをしてくれるんだろう」と職員の方が楽しみに会話をします。正直、不穏状態になると「ちょっと面倒だな」と思ってしまいますが、何故、不穏状態を起こしてしまうのか、職員一人ひとりが、個々に寄り添い耳を傾けケアに取り組んで行かなければならないと感じました。

1. 生活全般について

日差しが暖かい日には居室から出て日光浴を楽しみ、季節毎に咲いている綺麗な花などを見、四季を感じながらの生活が出来ました。

我が家は、すぐ外に出れる利便性の良いユニットなので、季節感を肌で感じる事ができ、重度化している方でも、ゆったりと語らう環境づくりが出来ました。また、重度の方の外食は無理でしたが、季節感を味わうことが出来るドライブをしながらアイスクリームを食べる事が出来とても良かったと思います。

面会については、避難先が村外と云うこともあり足が遠のいているように感じました。しかし、面会時には近況を報告したり看護師を交えて意見交換等をしてきました。

今年度は1年間に3名の方が亡くなりましたが、最期までご家族との連絡は途絶える事がなかったと思います。2月には1名の方が入居され、今までは静かな雰囲気ユニットでしたが、一気に賑やかになり会話と笑いのあるユニットに変化しつつあります。今後もコミュニケーションを密に図りながら少しでも寄り添えるケアをして行きたいと思います。

2. 食事について

4月当初、ペースト食や超刻み食、経管栄養、軟食、高カロリーゼリー等の方が殆どであり、食の進まない方々に“どうしたら皆さんに食べて頂けるか”試行錯誤の毎日でしたが、多職種の職員と毎日のように話し合い、個々にあった食事形態や栄養バランス、体調維持が保たれるようにと検討、最期まで「口から食べる」ことに拘り提供してきた結果、大変喜ばれていたように思います。

家料理では、ご利用者に合ったメニューを作るのは難しい部分もありましたが、外食ドライブが出来ない分、居室から庭先に出て、皆で作った料理を食べることで雰囲気も変わり楽しく食べることが出来たと思います。

常食や軟食摂取が難しい中での料理は、刻みやペーストにすれば何でも「食」する事は出来ますが、「食材を見て楽しむ」事が出来ず、今後どうすれば出来るか検討しなければならないと感じました。

川俣道の駅まで春と秋に2回ドライブする事が出来ました。春は水田が青々としている稲苗を見、秋は実った稲を見て四季を感じる事が出来たのではないかと思います。

食前体操は、進んでされる方はおりませんでした。午前のレクリエーションに参加されたり、頬のマッサージ等で補ってきました。また、新たに入居された方は、言葉で発したり、曲に合わせて唄われたりしています。

3. 入浴について

個々に合った入浴方法を随時検討しながら、終末期を迎えても我が家のお風呂にゆったりと入って頂いた事は、職員にとっても「今日も入れた」と喜びを一緒に感じ、体調が優れない時はとても心配で、本当に家族以上の経験をさせて頂きました。また、これらの提供にあたっては、看護師や他ユニット職員の協力がなければ何もできないほど大きなものでした。

週2回の入浴で、入浴後、保湿のためローション等を塗布した時は、肌も潤いとても良い状態なのですが、次回の入浴の脱衣時には乾燥してしまい落屑となっていたため、今後、いかにスキントラブルを軽減できるかが課題と感じました。

体調不良により入浴出来ない方には、清拭や着替え、足浴、手浴により清潔保持に努める事が出来ました。

4. 排泄について

個々に合わせたパット、おむつカバーを使用することにより、皮膚トラブルを防ぐ事が出来ました。しかし、尿臭の強い方に関しては色々と試行しておりますが、まだまだ対策改善が必要な状態です。

オムツOには出来ておりませんが、トイレでの排便コントロールは出来ており、現在4人の方がトイレで排便をする事が出来ています。しかし問題点もあり、便座への移乗や座位保持時の転倒等のリスクもあることから、クッション等で対応していますが十分な注意が必要です。

トイレに座る事は、よりスムーズな排泄を促し、そこで排泄することでオムツ内も快適となり、羞恥心やプライバシーも軽減されたかと思えます。

5. ユニット内の取り組みについて

体調不良者3名の方の看取り介護をさせて頂きました。基本的な生活は基より生活空間、コミュニケーションの回り方、寄り添うケアを目指し様々な形で毎日話し合いをしてきました。

休暇後の出勤時に状態変化が認められケアの内容が変わっていることもあり、連絡ノートは欠かす事が出来ませんでした。しかし、他ユニット職員や多職種の方々のご協力により、最後まで大切な時間に関わらせて頂けたと感じております。

6. 行事の取り組みについて

皆さんと一緒にレクリエーションや行事に参加することが出来良かったと思えます。特に西棟での行事にはベッドごと移動し参加する事が出来ました。

なかなか外出できない皆さんと一緒に、春と秋に川俣までドライブに出掛け、車内で食べたアイスクリームの味はきっと忘れられないと感じております。

7. 一年を振り返って

亡くなる方が続き、少人数となったことから密度の濃いケアを求められながらも通常通りのケアとなってしまう、もう少し寄り添うケアが出来たのではないかと反省しています。

また、言葉遣いには十分注意していたつもりですが、気が付くと少し荒い口調になってしまった時があり、今後改めて行かなければならないと思いました。

終末期を迎えた方のご家族と職員の気持ちが一つにならず、本人に寂しい思いをさせた面もあったと思えますが、声掛けを多くしたり、多職種の方々の協力もあり、少しは寂しさを取り除く事が出来たと思えます。

何をしたいのか、どう思っているのか、何を考えているのか（動作・感情・思考）のケアを特に必要としているユニットだったのでと思っています。しかし、色々な局面にぶつかった時、職員同士や多職種の方々と納得の行くまで意見交換し、疑問があればその都度話し合いをしてきました。日々のケアが変わるのが常日頃でも、それにあつたケアを目指し提供できたことは、少しでも「楽しい日々」を過ごして頂けたのではないかと感じています。

1. 生活全般について

今年度の家目標は、“ご利用者の個性を尊重し、優しく、丁寧に個々にあったケアを行い、一日一日の生活が充実し送れるようお手伝いをする。”でした。

我が家では7名での生活が始まりましたが、2名の方がお亡くなりになりました。1年前までは、毎食離床し自力摂取されていましたが、次第に体調が崩れ1名の方は、体も小さく臀部に褥瘡があり朝夕2回処置をしていました。もう1名の方は、身体が大きい方でしたが、体交等を工夫し、褥瘡も出来ることなく綺麗な身体で旅立たれました。

3月には新しい入居者が入り新しい風が舞い込んできました。先に入居されていた方は馴染みの輪ができており、そのような雰囲気の中、トラブルにならないよう試行錯誤し環境作りをすることで、早く馴染んで頂き、信頼関係を築いて行こうと努力しているところです。

朝はラジオ体操から始まり、レクリエーション、食前体操と心身の機能維持に努めて来ました。また、居室での生活が多くなる方へは、音楽を聴いて過ごして頂いたり、離床しレクリエーションの場に行き、賑やかな雰囲気だけでも味わって頂いたり、環境作りにも気を配って来ました。

2. 食事について

「口から食べる事」の大切さを念頭に置き、終末期の方にも最期まで食べて頂こうとケアに励んで来ました。

ある方は自力摂取で、食べる事が大好きな方でしたが、ある日から「要らない」と残されるようになり、早く寝かせて欲しいと訴えるようになりました。大好きだった食事が要らないなんて考えられず、食べないと体調も悪化してしまうという思いから、突然の変調に驚かされ、ケア会議で話し合い、結果、無理強いせず、穏やかに食べられる時に食べて頂こうとなりました。最期の一週間位は、OS-1の氷を数個口にするだけでしたが、それでも「うまい」と言われた時には、「口から食べられる」ケアの重みを感じました。今思えば、「もう要らない」と言い始めたころにはご自分の最期が分かっていたのかも知れません。

もう1名の方は、食べることや、お酒が大好きだったと云う事もあり、お茶はむせるが、ビールでは、むせることなく飲む事が出来るので、少しでも好きな物を口にして頂こうと、ご家族の協力により、ビールを準備して頂き、食事や行事に飲まれていました。終末期に入り最期まで、自分らしい生活を送って頂きたと云う思いから、お亡くなりになる数日前まで、少しではありましたが大好きなビールを口にして頂きました。

また、食前の「パ・タ・カ・ラ」体操は、職員同士で協力し行って来ました。職員が声を出すことで、ご利用者さんも声を出していました。なかには口すぼめ体操として、風船膨らましをして頂きました。

朝は、特に美味しく食事を摂って頂こうと口腔内を綺麗にしてからフロアへ移動しました。これからも、少しでも、口から美味しく食べられる環境作りに努めて行きたいと思います。

次年度は、形が崩れ何の料理か一目で分からない超刻みやペースト食の場合、配膳する時にこれは何ですと説明する事に心掛けたいと思います。

3. 排泄について

個々に合った排泄方法等も検討し、トイレでの排泄も大事にして来ました。また、随時、個々に合った排泄介助を行うことで、皮膚のトラブル防止や臭いの軽減を図って来ました。衛生面においても、十分な配慮を行うと共に、パットを随時見直したり、排泄交換時は洗浄、ローションやワセリンを塗布し皮膚の保護に努めて来ました。

尿臭のきつい方のズボンやパジャマ、ラバーシート等を毎日洗濯するようにしたことにより、尿臭が軽減されたように思います。また、汚物を新聞紙に包んだり、換気もまめに行うことで尿臭対策に努めてきました。

ご利用者の中には、定期的に浣腸をし、トイレで排便するよう促した結果、精神が安定してきたからなのか、毎日トイレで自然排便が見られるようになりました。

4. 入浴について

高齢化・重度化により皮膚も弱く、入浴後の皮下出血が時々見られるため、慎重に洗身や着脱をするように心掛けましたが、着脱のため掴んだ時や衣服を脱ぐ時に摩擦で出来てしまいました。次年度は、更に慎重に対応し皮下出血を防ぐよう周知していきたいと思います。

スキンケア対策として、個々に合った入浴剤、ローション、ワセリンを使用したところ、肌に潤いを保てました。

今後も安全で快適な入浴を提供するため、対応を統一出来るように家会議で随時話し合っ行ってきたいと思います。

5. 行事の取り組みについて

ほぼ室内での行事でしたが、ホーム全体の行事取り組みの中で「外食ドライブ、七夕会、温泉ツアー、夏祭り、敬老会、紅葉狩り、ミニ運動会&芋煮会、クリスマス会、餅つき会、新年会、団子さし、節分（豆まき）、ひな祭り」に参加することができ、その都度、皆さんの笑顔を沢山見る事が出来良かったと思います。中でも、他の家の方の賀寿祝いに職員が一丸となり協力し合い、少人数の職員でも盛大に行え良かったと思います。

初の温泉ツアーでは、我が家から2名の方が参加され、本当の温泉に入る事が出来、大変喜ばれました。

家料理では、厨房より担当の方が参加し、ご利用者と一緒に作ることで食事を楽しく出来たことが良かった。

今後も、出来ることを大切に、活気のある生活を送れるようお手伝いをして行きたいと思います。

6. 一年を振り返って

我が家では2名の方がお亡くなりになりましたが、他の方は、重度化するほど体調を崩す方もなく過ごせた事は良かったと思います。

今年度は、一人ひとりへの関わりを重視したケアに当たって来たことから、多くの笑顔が見れると共に多くの発語を聞くことができました。また、精神も安定し穏やかに過ごせたことと思います。

家の壁飾りとして、一緒に季節に合わせたちぎり絵を作り、飾ることで四季を感じる事ができたのではないかと思います。

また、村祭りにも出展し見学にも行きました。目標を持つことで楽しく作品作りが行え、ご本人の自信にも繋がり充実した生活を送れたように思います。

職員の言動や行動は、ご利用者に大きく影響するので、穏やかな気持ちで接する事を心掛けケアに当たって来たことで、落ち着いて過ごされている様子が窺え、改めて関わり方の重要性を考えさせられました。また、職員同士のコミュニケーションと多職種間との連携もしっかりと取れていないと統一したケアが出来ないと痛感しました。

次年度もご利用者の気持ちに寄り添い、個々に合った関わりをし、楽しく安心して生活を送れるようケアに当たって行きたいと思います。

1. 生活全般について

高齢に伴う身体機能の低下や認知症状の進行などもあり、今まで出来ていたことが出来なくなって行く様子を日々生活ケアの中で実感した一年だったのではないかと思います。

我が家のご利用者は98歳の方を筆頭に、皆さん食欲や体力もあり元気な高齢者ばかりです。

なかには季節の変わり目に体調を崩される方もおりましたが、看護師と連携を密にし支援にあたってきた結果、体調も回復され変わりなく過ごすことができました。

また、認知症状のある方に対しての支援については、日々悪戦苦闘です。認知症の方に対しての知識と経験不足から気分を損い不快にさせてしまったのではないかと思います。訴えや声をしっかり聴くことが大切だと強く感じました。しかし、何よりもご利用者全員一人も欠けることなく1年間元気で過ごすことができ本当に嬉しく思います。次年度も皆さんが元気で日々を過ごせるようにより良いケアに努めて行きたいと思います。

2. 食事について

日々の体調の変化に応じて食事形態を見直して対応してきました。特に誤嚥には十分留意しながらケアにあたってきました。

以前、自力摂取されていた方が体調不良により、自分で食べる事が出来なく全介助に移行。その日の体調に合わせ、安全に嚥下が出来るよう工夫した介助をしてきました。

今後も、最後まで自分の口から食べられるようにして行きたいと思います。

また、ある方は食べるペースが速く、口の中に食べ物があってもどんどん詰め込んでしまいむせるため注意深く見えています。

ペースト食の場合、いつも彩りが、白や茶、緑、時々オレンジと云った色合いになってしまいます。食べる事が唯一の楽しみなのに毎日同じ様な色合いで食欲が湧いてくるかなと配膳をしながら思っています。今後、「食べる事の楽しみ」について、多職種間と再度見直しを重ねて行きたいと思います。

3. 排泄について

排泄委員を中心に、尿量に応じたパットを使用することとし、見直しが必要な場合は試行期間を設け、個々に合ったオムツやパットを検討し対応してきました。同時に消臭対策にも力を入れ取り組み、尿臭の強い方の対応として、臭いの原因となる衣類やリネン等の交換と洗濯を毎日行い尿臭軽減に努めてきました。また、排泄交換時には洗浄を欠かさず行うことで居室内の尿臭なども軽減しています。今後も引き続き消臭対策に取り組んで行きたいと思います。

4. 入浴について

個々の身体状況をしっかり把握し一人ひとりに合った入浴方法で安全且つ安楽、安心した入浴を実践することが出来ました。また、入浴委員を中心に、楽しんで入浴できるように浴室に観葉植物を置いたり、季節に合わせた設えを行ったり、音楽を聴いて頂いたりしてゆ

っくり入浴できる環境作りに取り組んできました。

皮膚のトラブル対策として、個々に合った入浴剤を使用したり、入浴後に保湿クリームやワセリンなどで肌の保湿に努めました。今後も、安全で楽しくより良い入浴ケアが出来るようにして行きたいと思います。

5. 行事などの取り組みについて

その日の体調を見ながら、できるだけレク活動やホーム内行事やドライブ等に参加して頂き、身体を動かすことで気分転換とストレス発散して頂けるようにした。

朝のラジオ体操、昼のパタカラ体操、夕の食前体操等は毎日行うことで習慣になり自ら声を出して身体を動かされています。今後も体調維持の一環として取り組んで行きたいと思います。

6. 一年を振り返って

我が家に限らず他のユニットも同じだと思いますが、高齢に伴い身体面や精神面にも日々変化が見られます。毎日のケアの中、いつもと違う状態だと感じた時には、その変化を見逃さずに必ず連絡ノートやケースに記録しておき、更に、報告・連絡・相談をきちんと行い、多職種とも情報を共有しながら対策を考えケアに繋げて行かなければ、より良いケアはできないと改めて感じた一年でした。

また、東日本大震災から今年で6年目を迎えました。毎年3月11日を迎える度に震災当時のことを思い出します。今年は、私達にとってもいいたてホームにとっても正念場の年だと感じています。

1. 生活全般について

こもれびの家の年間目標として「ご利用者の身体面や精神面を理解し、寄り添い一人ひとりのニーズをしっかりと把握し日々のケアに努める。」を目標に掲げ、1年間ケアに努めてきました。

現在、6名のご利用者ですが、職員と関わりあう時間は以前より多くなり、寄り添ったケアが出来ていると感じています。

また、個々の生活面をサポートしながら、できない範囲をお手伝いし、レクリエーションへも参加を促すことによって、職員や他者との交流を深めることが多くなり、楽しく過ごせていると思います。

一日一日の関わりを大切に、今できる事を日々考えながら、職員間で話し合い、個々に合った最善のケアが出来た1年でもありました。今後も生活リズムに合わせた生活リハビリを通し思いやりのある心がこもったケアをして行きたいと思います。

2. 食事について

個々の状態によって食事形態を工夫し、口から食べることを大切にしてきました。

例えば、経管栄養だけだった方でも毎食ペースト食を食べてもらったり、刻み食と常食のおかずを半々に盛り付けたり、粒上の固形物でむせりが見られる時はお粥からスベラガーゼに変えたり、おかずのキザミ食をソフト食に変えたりと、常に食事メニューを説明してから目の前で盛り付けてきたことから楽しんで食事をして頂けたと思います。

また、1日の摂取カロリーが摂れるよう工夫してきた結果、残食も減ってきました。

3. 入浴について

浴槽の縁に取り外し可能な手すりを設置したり、立位が難しい方にはスライドボードを活用することで、全員が安全に浴槽に入れるようになり満足されています。

現在、個浴利用者が4名、機械浴利用者が2名。寒い時期は脱衣室に電気ヒーターを設置、部屋を温めてから利用し、洗身の時は足浴用の容器にお湯を入れ足を温め、寒くならないよう工夫しています。また、浴室内で民謡や演歌等を流し、香りや色がついた入浴剤も活用することでリラックスした入浴ができたのではないかと思います。

4. 排泄について

オムツ使用者が2名、他4名はトイレでの排泄を基本とし、特にプライバシーに最善の配慮をしながら対応してきました。また、排泄パットも日中と夜間帯に、個々に合わせた対応をすることで肌トラブルが起きないようにしています。

排泄の状態に変化があった時は、看護師に相談し適切なアドバイスを受けることで快適な排泄ケアに繋がった。

5. ユニットの取り組みについて

ゆっくり寛げるよう、テレビの前に車椅子でも利用できる炬燵を置き、傍に茶筆筒も置くことで家庭的な雰囲気づくりをしています。また、一緒に作品づくりを行ったり、居室の入口に季節の行事が分かる飾り付けをすることで大変喜んで頂いています。

6. 一年を振り返って

職員との信頼関係も築かれてきましたが、今後も馴れ合いにならないよう自立支援に心掛け、その人がその人らしく尊厳をもって生活できるよう頑張って支援して行きたいと思います。

平成27年度 いいたてホーム医務室事業報告書

1) 利用者及び職員の健康管理

<p>健康管理について (入居者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 健康診断1回目 平成27年7月28日 平均年齢 88.7 歳 男性平均年齢 83.4 歳 女性平均年齢 89.8 歳 39 名中 38 名受診 (1 名入院加療中) 内、有所見者 37 名。 ➢ 健康診断2回目 平成28年2月22日 平均年齢 88.9 歳 男性平均年齢 82.5 歳 女性平均年齢 90.2 歳 37 名受診 (検診率 100%) 内、有所見者数 35 名 ➢ 要精密検査を指摘され、緊急を要するような検査結果は1ケースあっ た。後日精密検査目的にて受診している。
<p>職員の体調管理に ついて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 介護職員の平均年齢も高く、柔軟性と筋力の低下が目立ち、体調不良を 訴える職員が目立っている。介護職員平均年齢 48.歳 ➢ 村外通勤を余儀なくされていること、かかりつけ医が固定しにくいこと などがストレスの要因になっている。 ➢ 職員のインフルエンザ罹患者は4名となった。 ➢ 腰痛対策については、予防法と介護技術の修得及び、福祉用具の購入 (個人購入も含め) 腰部にかかる負担軽減に努めた。
<p>健康診断について (職員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 検診率 100% (年2回) 施設外での健診を受けた職員については、結果の写しを医務室管理とし た。 ➢ 何らかの慢性疾患があり内服薬の処方を受けている。 ➢ 腰痛検査 (年2回) については、“総合的に心配なしと判断” という結 果が殆どであった。
<p>健康教育について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 職員会議定例会に於いて、時節に合った内容での勉強会を実施した。自 身の体調管理については個別に相談を受けるなど、健康に関して常に健康 を意識できるような体制作りに努めた。 ➢ 『昼食後のストレッチ運動』については、身体の柔軟性とリラックス効 果だけでなく、職員間のコミュニケーションをも図ることができた。良好 な副産物をももたらす結果となり、次年度も継続し、その輪を拡げていき たい。
<p>受診について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 救急車搬送は0件、臨時 (歯科含む) 受診と定期通院の割合は半々であ った。 ➢ 介護と看護間の連携と情報を共有することで、比較的速やかな対応がで きた。(手遅れという状態は避けられた) ➢ 医療知識の周知・理解を図ることで二次的疾患や事故の予防ができた。 ➢ 重症度の高いご利用者についても主治医の指示の下、家族への連絡を密 にするなど信頼関係を築くことができた。

2) 感染症対策

<p>感染症対策委員会 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 医務室が中心となり、時節にあった感染症についての情報を周知し、感 染症予防・蔓延に努めた。 ➢ ノロウイルスへの対策・対応としての勉強会を開催
<p>インフルエンザにつ いて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 入居者・職員にワクチンを接種。 ➢ 入居者2名、職員4名がインフルエンザ罹患者となったが、拡大する ことなく終息した。

3) 褥瘡対策

皮膚トラブルの予防	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 看護サイドでは、早期発見の重要性を周知すること。 ➢ 皮膚トラブルがもたらす2次的疾患の特性について知識を広めることができた。 ➢ 皮膚の状態を健やかにするため、セラミド入り乳液である『キュレル』及び皮膚の状態に合わせベビーオイルまたはアズノール軟膏を個別購入し対応した。 ➢ 栄養の大事さ、経口摂取がもたらす効果については適宜ケア会議などで話し合い、関心を深めていった。 ➢ 蜂窩織炎を発症したケースが1名。介護側との情報共有が何より大切であることを改めて確認した。 ➢ 看護師間で検討し、保護剤や被覆材の選択については互いの情報を共有するにとどまった。次年度は開催される勉強会などに積極的に取り組んでいきたい。
-----------	--

4) 終末ケア

看取りについて	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「慣れ親しんだホームで最期を」と希望する入居者や家族が多く、9名の方が施設自分の居室で永眠され、病院に移ってから亡くなられた方は2名であった。 ➢ 最期は居室にソファベッドを配置するなどして、家族に泊まっていた。一人で逝かせたくないという職員の想いからでもあります。そして、できるだけ悔いが残らないように配慮することで信頼関係を継続できた。 ➢ 終末期を考慮し、厨房・介護・看護の全スタッフで関わる事ができた。 ➢ 定期診療に加え、深夜早朝にもかかわらず対応していただき、最期の確認と家族への説明をして頂いた。
---------	--

【入院状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大町病院	0	1	1	2	1	1	0	0	1	1	1	0	9
延日数	0	5	22	23	8	10	0	0	15	4	2	0	89
あづま脳神経			1										1
延日数			14										14
小野田病院	1												1
延日数	6												6
実人数 計	1	1	2	2	1	1	0	0	1	1	1	0	11
延日数 計	6	5	36	23	8	10	0	0	15	4	2	0	109

【通院状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大町病院		4	2	3	2	6	5			3	1	1	27
わたり病院		1	1	1			1		1			1	6
あづま脳神経	1	1		2	1	2						2	9
布野歯科医院			1										1
きっかわ皮膚科		1	1										2
丹治皮膚科				2		1							3
佐藤医院												1	1
第一病院		1							1				2
実数 計	1	8	5	8	3	9	6	0	2	3	1	5	51

平成27年度 厨房事業報告書

1. 重点目標について

食べる楽しみが感じられる食事にポイントを置き、一人ひとりの身体状態や嗜好性を考慮した、「食べやすく・おいしい」食事作りに取り組みながら、食を通してご利用者の快適な生活をサポートしてきました。

2. 実施内容

(1) 年間実施食数

食種	経口食	経管栄養	職員食	研修生	検食	家族食
年間食数	39,475	3,631	9,591	12	1,098	52
1ヶ月平均	3,289	303	799		92	家族会など
1日平均	109	10	26		3	
年間総食数	53,859 食					

(2) 年間食材費

食材費	特養
平均	1人1日 870円
食材費総額	15,476,552円

(3) 年間平均食事栄養量

栄養量	熱量	たんぱく質	脂質	塩分	炭水化物
特養	1,437kcal	62.6g	37.3g	7.0g	221.6g

(4) 栄養ケアマネジメント

対象者	対象者	実施期間	見直し期間
特養	入居者全員	通年	3ヶ月。但し、食事形態に変更があった場合は、その都度随時見直し対応
(平成28年3月末)			
アセスメント結果 入居者 38名	低リスク (問題ない者) 28名	中リスク (やや瘦傾向・経管者) 10名	高リスク (褥瘡がある等) なし

(5) 事業取り組み内容

① 食事について

ア. 行事食

- 今年は特に行事食に力を入れて来ました。味はもちろん、初めての料理や見た目にも工夫した盛り付けや目の前での調理パフォーマンス等充実した内容で好評でした。
- 納涼祭や芋煮会、餅つき等大きな行事では、ホールでご利用者や他部署職員との交流を通して一緒に協力し合いながら雰囲気盛り上げたことで、遣り甲斐を感じました。
- 行事毎の調理工程と役割分担の確認をすることで、スムーズな食事提供が出来ました。ただ、内容に変更が生じた時、連絡不十分により上手く提供できなかったことがあったので、今後、改善していきたいと思います。

イ. 誕生会

- 要望に応えるため毎回悩みながら、厨房内で相談し回を重ねるごとに、ケーキや水羊羹、プリンケーキやムースケーキなど綺麗に仕上げられるようになりました。また、担当を決めることで責任感も増し、遣り甲斐に繋がっています。次年度はデコレーションの技術を上げていきたいと思います。

ウ. 料理、出張料理

- 各家に出向き調理することは、不慣れで緊張しましたが、何度か一緒に行なっているうち、ご利用者の食事状況や体調、好き嫌いなども把握出来ました。調理している

様子を見て喜んで頂け自分達も励みになりました。次年度も各家と連携しながら出張料理として取り組んで行きたいと思います。

② 各家との関わりについて

行事や出張料理等で各家へ出向く機会も増えたり、家会議にも担当者が出席する事で食事面に加え嗜好や体調、生活スタイル等も分かり勉強になりました。また、厨房からの意見や提案もでき、関わりを深めながら栄養マネジメントに反映することができた。

③ 厨房内係りについて

年度途中、一人ひとりに係りを受け持つように分担してから、各々率先して取り組み、以前より効率も上がりました。

(6) 一年間を振り返って

今年度は行事や出張料理、家会議など積極的に各家へ出向き関わる事で、ご利用者や介護職員とのコミュニケーションも多くなり、結果、行事食の提供に関しては、以前よりレベルアップした内容で提供出来たように思います。ただ、厨房内での事前打ち合わせや連絡が不十分なことがあり混乱した部分もあったため、今後は周知・徹底の強化を図って行きたいと思います。

また、厨房内業務を担当制にする事で、責任感も強まり普段の業務においても活発な意見が出され意識向上に繋がっています。

職員一人ひとりが努力することで、行事の時でも普段と同じシフト人数でまかなえるようになって来たことから、これからは更に緊急時にも臨機応変に対応出来るような体制を整えると共に、震災時の教訓を忘れないように非常食訓練も続けて行きたいと思います。

2月に百歳賀寿のお祝いをさせて頂きましたが、年々ご利用者の状態も重度化し、全体の7割近くが超キザミやペースト食に変わっている状況で、口から食べる事の大切さを改めて強く感じます。普通の形態では無理なためミキサーにかけ安全に食べられるペースト状で提供するも、見た目で避けられてしまったり、常食でも好まれず残ってしまう野菜の副菜。どうしたら食べて頂けるか、介護職員や看護職員と連携しながら取り組んできた結果、手を加えたソフト食に変更することで、ペースト食者に加えて常食者にも笑顔で食べて頂けるようになり残食も減りました。

喜んで美味しく食べて頂けることが身体と心の栄養になり、健やかな生活に結びついていく事が実感出来た。これからも、ご利用者が好きなメニューである洋食を始めとし今年度以上に色々な料理にチャレンジし、喜んで頂ける料理を提供するため、研修や実績を積んでスキルアップに努めて行きたいと思います。

平成27年度 いいたて在宅介護支援センター
指定居宅介護支援事業所事業報告書

1. 基本方針について

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、ご利用者やご家族の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、ご本人並びに家族は勿論の事、多種多様な事業者や関係機関と連携し、避難先等でも家族との繋がりが継続できるような支援を行ってきた。

(1) 信頼を得るについて

ケアプランを立案するにあたり、ご利用者とそのご家族の方との信頼関係を得るためにコミュニケーションを密にして、避難先の環境やサービス事業者とも連携を図り、迅速な対応を目指してきた。

(2) 課題を正確に捉えるについて

生活環境の変化やご利用者・ご家族の方の抱える心配ごとや不安な点を捉えるため、予測されうる課題についても、事前に検討を行ってきた。

(3) 情報提供について

ご利用者・ご家族の方が必要としている、介護保険制度を含めた様々な情報を提供、利用できるサービスなど避難先の地域資源活用等についても情報提供を行ってきた。

(4) モニタリングを行うについて

常に状況を把握し、状態にあった支援が提供できるよう努めてきた。モニタリングについては訪問以外にも、電話などでの相談や状況把握など出来る限りの活動を行ってきた。

(5) ご利用者の立場に立つについて

常にご利用者とその家族の、立場に立ち対応することに努めてきた。

『評価と課題』

訪問活動の他に、電話などにより身体状況の変化、生活状況及び家族の負担状況の把握を行い、より適切な対応ができるように努めてきました。また、サービス提供事業者や関係機関等との連絡体制を徹底し、情報の共有を図ってきた。

広域に避難している利用者に対応している状況である。今後は、介護保険給付に対するサービスの利用量の適正化を図っていくことも必要となってくると思われる。

2. 具体的な施策について

《ケアマネジメントの充実》

(1) アセスメント（課題分析）について

ご利用者及びご家族の方の意向等を把握し、解決すべき課題や生活行為等に対する可能性を抽出し、それらに基づく目標を導き出してきた。また、得られた情報はケアマネジメントの中核とし、状態像を十分に把握してきた。

(2) サービス担当者会議（ケアカンファレンス）について

ご利用者及びご家族の方、サービス事業所が参加することにより、生活への要望や課題を直接会って確認することで、チーム全員が思いを共有できると共に、ご利用される側に安心感を持てるようにしてきた。

(3) モニタリング（サービス実施状況の把握及び評価）について

モニタリングは、ご利用者に対する継続的なアセスメントでもあり、ご利用者や家族の要望や苦情を、口に出せるような関係を築いていくと共に、サービスの実施状況も確認してきた。

(4) 居宅サービス計画の見直し（再アセスメント）について

モニタリングの結果から、ケアプラン変更の必要性が生じたら、内容を確認し利用者の状態の変化及びニーズを把握し、居宅サービス計画を見直し作成してきた。

(5) 給付管理について

サービス提供事業者からサービスの実績報告を受け、内容を確認し「給付管理票」を作成し翌月10日までに県の国民健康保険団体連合会に提出しています。

平成27年度 給付管理請求一覧

月	件数	介護報酬額	月	件数	介護報酬額
4	69	982,400円	10	70	972,900円
5	68	960,840円	11	73	1,013,000円
6	66	932,720円	12	75	1,045,960円
7	68	956,680円	1	74	1,018,980円
8	72	1,010,600円	2	73	1,006,420円
9	70	971,060円	3	74	1,006,420円
合 計			852件		11,877,980円

『評価と課題』

サービス提供事業所との連絡調整を密に行い、適正なサービス利用に向けた調整を行っています。ショートステイの利用希望においては、相馬地方や県北地区の各施設とも慢性的な人員不足状態が続いている状況で、定員を受け入れることが困難な状況にあります。

サービスの利用量の適正化を図り、ご利用者様本人や家族の要望を受け入れながら、インフォーマルなサービスも取り入れ、各種事業所との連絡調整を行っていきたいと思います。

3. 重点事業目標について

(1) 利用者及び家族に対し、避難先の福祉サービス情報提供について

- 希望するサービスを把握し避難先で対応可能なサービスについて、介護保険サービス以外のインフォーマルサービスを含め情報提供を行った。

『評価と課題』

- 避難先地域ごとに、サービスの種類や量などを事前に調査を行い、利用者や家族に適していると思われるサービスについて適宜情報提供を行うことが出来た。

情報収集の方法について、より効果的に図れる様に関係機関と連携する必要がある。

(2) 避難先での孤立防止と意欲低下防止について

- 訪問活動や電話による状況確認を行うことにより、利用者はもちろんのこと、家族の介護への不安解消を図った。

『評価と課題』

- 定期的な訪問活動のほかにも、関係機関との連携を図り、利用者や家族への支援活動を展開できたことは満足できるものであるが、今後は離れて暮らす家族との連携も必要と思われる。

(3) 利用者の状況に応じたケア計画の作成について

- 利用者及び家族の状況を把握することはもちろん、サービス提供事業者からの情報を元に再アセスメントを行い、状況に適したケア計画を作成してきた。

『評価と課題』

- 状況に応じたケア計画作成が出来たことは、利用者や家族にも満足していただけて評価できるものと思っている。その時々だけではなく、当初から長期的な視点でのケア計画を作成するように努めたい。

(4) 効率的かつ効果的な活動について

- サービス利用希望者が、広範囲に避難することとなり、訪問のための移動時間が多くなっていることは確かであり、そのため、相談内容の事前把握や関係機関との調整を電話などで行い、相談や支援業務を効果的に行えるような活動を行ってきた。

『評価と課題』

- 訪問活動のほか、関係機関との連携を図り、利用者や家族への支援活動を効果的かつ効率

よく展開できたと思われるが、今後も早期の問題把握に努め、より効率的効果的な活動に努めたい。

(5) 要介護認定調査について

- ・ 飯館村の要請を受け、認定の見直しを希望する方の要介護認定調査を実施してきた。

『評価と課題』

- ・ 調査機関などを厳守するため、事前の連絡調整を密に行い滞ることなく認定調査を行うことができたことは評価できている。賠償を目的に認定を見直したいという、本来の目的ではない見直しを希望する利用者（家族）もあり、申請に至る時点での聞き取り調査なども必要ではないかと感じられる。

(6) 課題等情報の共有について

- ・ 相談支援業務だけに限らず、避難元の地域での生活情報や、避難先のサービス提供情報などについても、相互の持っている情報の共有を図ってきた。

『評価と課題』

- ・ 介護支援専門員は3名体制ということもあり、様々な問題に対して連絡や情報交換が取りやすい環境となっている。今後も継続し、利用者支援に関する情報はもちろんのこと、サービス提供機関や医療機関などの関することなどについても、情報の共有を図っていききたい。

4. 介護支援専門員の資質・専門性の向上について

(1) 専門知識及び技術向上に努めてきた。

研修会に参加し、周知徹底に努めてきた。

- ・ 現任認定調査員研修（南相馬市） 2名参加

(2) 不満や苦情があれば、迅速かつ適切な対応が図れるように努めてきた。

- ・ 訪問時本人や家族の満足や不満等について確認し、サービス事業所への報告や改善を促しながら、質の向上に取り組んできた。

(3) 秘密保持厳守、及び個人情報の取り扱いを適正に行ってきた。

- ・ 個人情報等の取り扱いについて慎重に対応するよう取り組んできた。

(4) 困難事例ケース検討、及び新規ケースの情報を共有することで、事業所内で依頼ケースのケアに取り組んできた。

- ・ 担当者が詳細な情報を報告し、情報を共有出来るよう取り組んできた。

『評価と課題』

研修会に参加し、情報の収集を行ってきた。

困難事例ケースについては、地域包括支援センターやサービス提供事業所とも連携を図り、同行訪問等を行いながら対応を行ってきた。困難事例ケースの中には、介護保険問題だけではなく、家族構成・経済・住宅環境など家庭環境全体が困難なケースとなっている。

5. 在宅介護への支援について

(1) 介護保険制度及びサービス内容の周知を行ってきた。

- ・ サービス利用については、ご利用者のニーズに合わせ、それぞれの避難先（自治体）で希望するサービスを提供できるよう取り組んできた。

(2) 介護方法及び社会資源の利用についての周知を行ってきた。

- ・ 介護に関わるアドバイス、認知症利用者等への対応の仕方など行ってきました。避難先での利用可能な社会資源について、その都度説明を行ってきた。

『評価と課題』

関係機関との連携が益々必要となっていくと考えられ、利用者やその家族の不安が少しでも解消できるような、相談援助活動を継続していく必要がある。

6. 各関係機関との連携の強化

(1) 地域包括支援センターを始め、各関係機関との連携を密にし、ニーズに沿ったケアマネジメントが行えるよう取り組んできた。

・他市町関係機関との連携を行いながら、ケアマネジメントに反映出来る様に取り組んできた。

『評価と課題』

・避難先の各種関係機関とも連携して支援できたことについては、評価できるものと感じております。今後の生活環境等の変化に対し、どのように対応できるか各関係機関との連携がこれまで以上に重要となってくるものと思われる。

平成27年度、避難中ご協力頂いている（協力頂いた）各種事業所（敬称省略・順不同）

（福祉用具関連事業所）

エヌジェイケアヘルス福島店、ニチケアセンター南福島、㈱ファミリーケア（福島）㈱同仁社（伊達）、㈱昭和総合サービス（郡山）創世テクノエイド（桑折）、㈱アルプスビジネスクリエーション（相馬）、㈱ハッピーケア、㈱すさ家具店（南相馬）、㈱福島ひかりのくに（川俣）

（訪問看護事業所）

訪問看護ステーション松陵、訪問看護ステーションしみず、訪問看護やまなみステーション、訪問看護ステーションすかわ、訪問看護さくらみずステーション（福島）、リハビリ訪問看護ステーションつばさ（相馬）、訪問看護ステーションゆうゆう（南相馬）、済生会川俣訪問看護ステーション（川俣）、藤田総合病院在宅支援看護センター（国見）

（訪問介護事業所）

ハートフルステーション、大和ヘルパーステーション、ヘルパーステーションはなしのぶ、ロング・ライフ訪問介護事業所、アグリホームヘルパーステーション、民間救急警備㈱（福島）、福寿園ヘルパーステーション（南相馬）、ケアステーションやわらぎ、ヘルパーステーションだて、ヘルパーステーションほばら（伊達）、馬陵タクシー介護事業部ニチケアセンター宇多の郷（相馬）、済生会光風園訪問介護事業所（川俣）

（訪問入浴事業所）

（有）キュービット介護サービス、民間救急警備㈱（福島）、

（通所リハビリ事業所）

通所リハビリステーションろくまんぼう、通所リハビリ桃花林（伊達）、せいふうケアリハビリ・ホーム方木田、せいふうケアリハビリ・ホーム飯坂、通所リハビリテーションエルダーランド、とやのクリニック通所リハビリテーション、レッツ倶楽部瀬上（福島）、通所リハビリテーションめがみ（川俣）

（通所介護事業所）

北信デイサービスセンターすこやか、デイサービスセンターなごみの郷、デイサービスあづま、デイサービスセンター輝きの郷、ハートフェローユーズデイサービス愛の里（福島）、ニチケアセンター宇多の郷、相馬福祉会デイサービスセンター、相馬市デイサービスセンター（相馬）、南東北川俣デイサービスセンター（川俣）、デイサービスセンターにほんまつ（二本松）福寿園デイサービスセンター、デイサービスステーションスマイル、けやきデイサービスセンター（南相馬）、保原デイサービスセンター、デイサービスやわらぎ（伊達）

（短期入所事業所（特別養護老人ホーム））

なごみの郷、輝楽里、聖・輝きの郷、愛の里、まちなか宝生園（福島）、孝の郷、ハッピー愛ランドほばら、ケアハウス星風苑（伊達）、南東北川俣シルクロード館、川俣ホーム（川俣）、ショートステイ憩いの森（宮城・丸森）

（短期入所事業所（老人保健施設））

エルダーランド、ケアフォーラムあづま（福島市）、プライムケア桃花林（伊達）、ベテランズサークル（相馬）、桑折聖・オリーブの郷（桑折）、居宅療養管理指導（往診含む）、とやのクリニック、すずきクリニック（福島）、大石医院（相馬）

平成27年度 やまゆり保育所事業報告書

1. 年間入所児童数

年齢	男児	女児	合計
2歳児	1	0	1
1歳児	2	1	3
0歳児	0	4	4
計	3	5	8

2. 年間保育

月/日数		月/日数		月/日数	
4月	25日	8月	26日	12月	23日
5月	23日	9月	23日	1月	23日
6月	26日	10月	26日	2月	23日
7月	26日	11月	23日	3月	26日
合 計					293日

育日数

・保育時間（通常保育 7:00～18:00、延長保育 18:00～19:00）

3. 主な保育所行事

月	日	行 事	内 容	参加人数
4	1	平成27年度保育開始	通常保育開始	
	14	避難訓練	避難笛の合図を知る・避難の仕方を知る。	児童 3名
	23	内科検診	あづま脳神経外科病院小児科医による検診	児童 3名
5	7	子ども会	子どもの日の由来を知る。こいのぼりの製作や歌を歌う	児童 3名
	8	交通安全教室	歩道の歩き方を知る。信号の見方を知る	児童 3名
	11	歯科検診	歯科医師による検診受診	児童 3名
	12	蟻虫卵・尿検査	ピンテープによる検査及び尿採取	児童 3名
	13	避難訓練	火災想定にて避難訓練実施	児童 3名
6	15	保育参観	親子ふれ合い遊び等	児童3 保護者4
	10	防犯教室	紙芝居などを用いて不審者には付いて行かない等を知る	児童 4名
	17	避難訓練	地震想定避難訓練	児童 4名
7	7	七夕会	七夕の由来を知り、短冊に願いを書き、笹飾りにする	児童 4名
	10	避難訓練	台風想定避難訓練実施	児童 4名
	21	実習生受け入れ	見学実習 午前	1名
	22	実習生受け入れ	見学実習 午後	1名
	25	じゃがいも掘り	プランターで育てたじゃがいも掘り、植える・育てる・収穫するまでの工程から食育や自然を育む	児童 3名
8	27	実習生受け入れ	7/27～8/7 迄福島学院短大生	1名
	5	防犯教室	不審者が保育所に侵入することを想定した避難訓練	児童4、実習生1
	17	実習生受け入れ	8/17～8/27 迄福島学院短大生	1名
	19	避難訓練	周辺建物火災想定避難訓練実施	児童 5名
9	19	誕生会	8月生まれの子の誕生を祝う	児童 5名
	29	ミニ夏祭り	ゲーム遊びやめだかすくい模擬店等で楽しむ	児童5、実習生1
	4	誕生会	9月生まれの子の誕生を祝う	児童 5名
10	9	交通安全教室	横断歩道の渡り方を知る。信号の見方をおさらいする。	児童 5名
	28	避難訓練	地震・火災想定で避難を訓練	児童 5名
	1	歯科検診	辻歯科医師による検診	児童 5名
	2	保育参観 避難訓練 引き渡し	親子製作(村祭り作品展示用) 伊達消防南分署長講話・引き渡し訓練実施	児童5、保護者5
	9	遠足ごっこ	給食を弁当に詰め、戸外で食べる	児童 4名
	15	蟻虫卵検査 内科検診	ピンテープ検査実施 あづま脳神経外科病院小児科医による検診	児童 6名 児童 6名
11	20	新任研修	見学研修(飯館村幼稚園教諭)	1名
	31	村祭り	親子合作作品の展示	児童 5名
	1	村祭り	親子合作作品の展示	児童 5名
	12	避難訓練	地震・火災想定避難訓練実施	児童 5名
	19	防犯教室	川俣警察署員による指導	児童 5名
12	19	でんでらキャラバンコンサート	NHKEテレ「でんでらきゃらばん」によるコンサート鑑賞	児童5、保護者5
	12	避難訓練	地震想定避難訓練実施	児童 6名
	25	クリスマス会	サンタクロースからのプレゼント頂き、ケーキを食べお楽しみ会をする	児童 6名

1	8	避難訓練	火災想定避難訓練実施	児童 6名
	21	実地監査	相双福祉事務所による実地監査	監査員 2名
2	3	豆まき会	節分の由来を知り、豆をまく。鬼のお面の製作	児童 8名
	12	誕生会	2月生まれの誕生者を祝う	児童 8名
	16	避難訓練	火災想定避難訓練実施	児童 8名
3	3	ひなまつり会	雛人形の製作や雛祭りの歌に合わせたダンスを楽しむ	児童 8名
	7	避難訓練	紙芝居や絵を見ながら一年間のおさらいをする。	児童 8名
	24	お別れ会	平成27年度に修了する子たちとお別れ会	児童 8名
	25	修了式	修了証書授与・思い出のスライド・記念品や花束のプレゼント	児童 1名
	31	平成26年度保育終了		

- ・四季折々の行事から、古来の伝統を伝承し季節を味わえるような保育に取り組んできた。
- ・毎月、避難訓練を実施（10月の保育参観時に保護者への子どもの引き渡し訓練を実施した。）

4. 会議報告

① 職員会議

毎月、保育内容を確認し、自己評価を行うことで個々の保育の質を高めてきた。

月 日	内 容
4月27日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・事業計画の確認について
5月15日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・マニュアル見直しについて
6月22日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・夏祭りについて
7月15日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・ミニ夏祭りについて
8月12日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・実習生受け入れについて
9月30日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・保育参観について
10月21日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・研修報告
11月19日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・実地監査について
12月21日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・年末年始休業について
1月26日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・実地監査結果について
2月29日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・修了式について
3月25日	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・修了式の反省・新年度準備

② 給食会議

先月の改善事項の確認、今月の改善事項、各クラスの食事状況、厨房及び栄養士からの状況報告等、行事食について話し合いを行ってきた。

会議実施日

4月27日	10月22日
5月14日	11月17日
6月18日	12月18日
7月24日	1月27日
8月25日	2月18日
9月24日	3月18日

- ・食品放射能線量検査毎日実施
- ・保菌検査 全職員毎月実施
- ・ノロウィルス検査(調理師)
- ・食品自主検査 6月・2月実施
- ・温度調査 年1回実施
- ・食育アンケートの実施(6・11月)

- ・毎日提供する食品の放射線量検査を実施、安心安全な食事提供に努めてきた。
- ・食育アンケートを実施、アンケートの結果を基にメニューに反映してきた。
- ・行事には、四季の食材やお楽しみメニューとし、楽しく食事ができるよう心掛けてきた。

5. 安全点検・備品点検の実施

- ・毎月1日を安全点検実施日とし、建物及び敷地内の点検を行い、不備があった場合即対応し事故防止に努めてきた。
- ・備品点検は隔週に行い、椅子やテーブル等のネジの緩み等を整備し事故防止に努めてきた。

6. 個別計画・月、週案の作成

- ・ 年2回アセスメントを実施し、個別計画を作成、保育に取り組んできた。
- ・ 月・週別の計画を作成。
- ・ ケース記録・経過記録のこまやかな記入に心掛け、成長の記録作成をしてきた。

7. 保護者支援

- ・ 送迎時、連絡帳を活用し保護者が安心して預けられる保育所づくりに努めてきた。
- ・ 月報「やまゆりの子」やホームページに保育所の様子をアップし発信に努めてきた。

8. 感染予防の徹底

- ・ 食事形態の工夫により偏食の改善に努めてきた。
- ・ 年間を通しての手洗いうがいの徹底をしてきた。
- ・ 排泄介助時の衛生管理を徹底してきた。

(一年間を通して)

大きな事故や感染症もなく1年間を過ごせた。

本年度は、全体利用児童は昨年より少ないものの、0歳児の入所児が例年より多く、集団で行う「運動会」等の行事が実施困難であったのは残念であったが、例年通り、一人ひとりに寄り添った保育に努めることができた。

また、職員の自己評価を毎月行い、保育士が個々に保育の見直しを行えるよう努めた。

次年度に於いても、安心安全に保育が行えるよう環境整備に努め、細部にわたり職員間で共通理解ができるよう連絡ノート等を活用し、よりよい保育に取り組んでいきたい。

1. 基本方針

震災（原発事故）に伴う影響は5年が経過した今でも状況は変わらず、将来的展望が描きにくい現況が続いている。

本年度の基本方針は昨年同様で「通常業務に加え、新たな財源確保（補助金等）や人材確保のための環境整備の提案等について取り組む」は、事務分担による効率アップと責任ある担当事務の遂行、各部署の相互協力によりスムーズな業務運営等ができたと思われる。

また、人材確保について、次年度新卒採用者を迎えることができたことは久々の明るいニュースであった。今後も、同じ仲間が増えるよう努力して行きたい。

2. 具体的な内容

① 財源の維持確保

・収入の確保

公的助成の申請（介護ロボット推進事業等）

また、適正且つ納得の行く賠償請求も併せて行ってきた。

・支出の見直し

昨年と同様に、前年度の実績を基に間に合うものはそのまま活用し、余分なことと思われる支出を抑えてきた。

・様々な試算に心掛ける

収支を実行する前に何が効果的なのかを見極め、効果に見合う費用対効果について試算してきた。（無駄を減らす。）

② 人材確保

職員不足は、財源に大きな影響を及ぼすことから、人材確保に関する広報（お知らせ版やホームページ、ハローワークに登録）や呼掛け（知人等）等を積極的に行ってきた。

また、新卒採用者を迎えることができたのは、実習生を受け入れた結果が繋がったと云えることから、次年度も積極的に実習生受け入れを行っていきたいと考えている。

③ 後方支援の役目を担う

各事業所が活動し易いように、必要とする事務的資料を作成する等、後方サポートを行ってきた。

3. その他

その他必要時に必要な内容を伝達できるよう、適宜の勉強会を開催

マイナンバー制度の導入に伴い、事務処理が適正に行えるよう、事務所内での勉強会を適宜行ってきた。

平成27年度 研修一覧

研修期間	研修者氏名	所属	研修名	研修場所	備考	開催者	内容
4月16日 ~ 4月16日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※第15回正副会長・委員会議(拡大)	塩崎ビル	14:00~17:00	全国老施協	情報分析、各委員会事業の推進について
4月27日 ~ 4月27日	1 日間	北里真由美	特養 平成27年度相双地区集団給食研究会並びに第1回研修会	はまなす館	13:30~16:30	相双地区集団給食研究会	平成26年度事業及び収支決算について他
4月30日 ~ 4月30日	1 日間	三瓶 政美	特養 平成27年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会総会	ビッグパレットふくしま	13:00~14:30	県社協	平成26年度事業報告について
5月11日 ~ 5月12日	2 日間	三瓶 政美	特養 ※平成27年度東北ブロック老人福祉施設大会	ホテルメトロポリタン仙台	12:00~11:50	県社協	介護報酬改定を受けて
5月29日 ~ 5月29日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※第19回総会	品川プリンスホテル	13:30~17:00	全国老施協	代議員及び予備代議員の選任について
6月1日 ~ 6月1日	1 日間	佐藤 恵	特養 平成27年度老人福祉施設職員研修Ⅱ	ユラックス熱海	10:20~16:00	県社協	求められるコミュニケーション力
6月2日 ~ 6月2日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※第1回正副会長・委員会議(拡大)	塩先ビル	13:30~16:00	全国老施協	情報分析、平成27年度事業推進について
6月2日 ~ 6月2日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※全国介護政治連盟 役員会	塩先ビル	16:00~	全国老施協	第24回参議院議員通常選挙について
6月3日 ~ 6月3日	1 日間	三瓶 政美	特養 第1回部会長・副部会長・復興委員合同会議	ザ・セレクトンホテル福島	10:30~	県社協	平成27年度上半期の事業について
6月4日 ~ 6月4日	1 日間	三瓶 政美	特養 平成27年度福島県社会福祉協議会サービスセンター部会相双支部総会	ザ・セレクトン福島	13:00~	サービスセンター部会相双支部	平成26年度事業報告及び収支決算について
6月4日 ~ 6月5日	2 日間	三瓶 政美	特養 平成27年度相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会総会及び施設長会議	ザ・セレクトン福島	15:00~翌11:00	相双地区特費連	平成26年度事業報告・収支決算について
6月5日 ~ 6月5日	1 日間	佐々木裕行	特養 平成27年度 安全運転管理者講習会	原町フローラ	9:30~16:30	福島県公安委員会	安全運転講習
6月9日 ~ 6月9日	1 日間	佐々木裕行	特養 平成27年度社会福祉法人等代表者会議	郡山ユラックス熱海	10:30~12:00	福祉監査課	平成26年度検査結果及び平成27年度監査方針等について
6月9日 ~ 6月9日	1 日間	北里真由美	特養 平成27年度相双地区集団給食研究会第2回研修会	はまなす館	13:30~16:00	相双地区集団給食研究会	2015版食事摂取基準における機能性食品の有効使用について
6月11日 ~ 6月11日	1 日間	嶋原やすえ	特養 マイナンバー制度対応セミナー	富士ゼロックス	13:00~14:00	富士ゼロックス福島	マイナンバーを運用するにあたって必要となる各対応策のご紹介
6月11日 ~ 6月11日	1 日間	横山 啓子	特養 マイナンバー制度対応セミナー	富士ゼロックス	13:00~14:00	富士ゼロックス福島	マイナンバーを運用するにあたって必要となる各対応策のご紹介
6月12日 ~ 6月12日	1 日間	佐々木裕行	特養 介護福祉士養成校等の見学	福島介護専門学校	9:00~18:30	相馬地方に介護福祉士養成校をつくる会	求められる養成校のあり方等
6月18日 ~ 6月18日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※総務・組織委員会 第1回四役会	塩先ビル	14:00~16:00	全国老施協	平成26年度事業の総括について
6月17日 ~ 6月19日	3 日間	菅野 明洋	特養 2015年ユニットケア研修 講義	TKPガーデンシティ仙台、TKP仙台カンパニースタジアム	9:00~17:00	ユニットケア推進センター	ユニットケアの理念と意義他
6月22日 ~ 6月26日	5 日間	菅野 明洋	特養 2015年ユニットケア研修 実技	みどりの郷	12:00~16:00	ユニットケア推進センター	施設実地研修
6月28日 ~ 6月28日	1 日間	木幡久美子	特養 平成27年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会在宅部会研修会	ラコバふくしま	10:00~15:00	県社協	高齢者施設におけるリスクマネジメント・福祉サービスの効果的な記録・介護保険事業における記録のあり方
6月28日 ~ 6月28日	1 日間	斉藤 伸	特養 平成27年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会在宅部会研修会	ラコバふくしま	10:00~15:00	県社協	高齢者施設におけるリスクマネジメント・福祉サービスの効果的な記録・介護保険事業における記録のあり方
6月28日 ~ 6月28日	1 日間	菅野 麻美	特養 平成27年度福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会在宅部会研修会	ラコバふくしま	10:00~15:00	県社協	高齢者施設におけるリスクマネジメント・福祉サービスの効果的な記録・介護保険事業における記録のあり方
6月29日 ~ 6月29日	1 日間	木幡 佳代	特養 平成27年度介護保険事業者集団指導	サンライフ南相馬	13:30~16:00	介護保険室	平成27年度介護保険事業者指導方針について
6月29日 ~ 6月29日	1 日間	眞壁 成行	在介 平成27年度介護保険事業者集団指導	サンライフ南相馬	13:30~16:00	介護保険室	平成27年度介護保険事業者指導方針について
6月29日 ~ 6月29日	1 日間	三瓶 政美	特養 第1回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	14:00~16:00	飯館村	帰村後の健康・福祉・医療の再生についての検討
6月29日 ~ 6月29日	1 日間	佐々木裕行	特養 第1回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	14:00~16:00	飯館村	帰村後の健康・福祉・医療の再生についての検討
6月29日 ~ 6月29日	1 日間	菅野ゆかり	在介 第1回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	14:00~16:00	飯館村	帰村後の健康・福祉・医療の再生についての検討
7月2日 ~ 7月2日	1 日間	三瓶 政美	特養 平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	ビッグパレットふくしま	13:20~16:10	県社協	苦情相談対応の留意点と説明責任
7月2日 ~ 7月2日	1 日間	山田 義忠	特養 平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	ビッグパレットふくしま	13:20~16:10	県社協	苦情相談対応の留意点と説明責任
7月2日 ~ 7月2日	1 日間	大谷美恵子	特養 平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修会	ビッグパレットふくしま	13:20~16:10	県社協	苦情相談対応の留意点と説明責任
7月6日 ~ 7月6日	1 日間	佐々木裕行	特養 平成27年度社会福祉法人事務長等研修	郡山ユラックス熱海	10:20~15:40	県社協	社会福祉法人における期待される社会福祉法人運営について
7月7日 ~ 7月7日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※第2回正副会長委員会長会議(拡大)	塩崎ビル	13:30~15:30	全国老施協	状況分析、各委員会事業の進捗について等
7月9日 ~ 7月9日	1 日間	三瓶 政美	特養 平成27年度福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会並びに社会福祉経営者セミナー	ザ・セレクトン福島	13:00~16:45	県社協	平成26年度事業報告及び収支決算について
7月13日 ~ 7月13日	1 日間	江口真由美	特養 平成27年度認知症高齢者対応研修会	郡山ユラックス熱海	10:30~16:00	県社協	高齢者の心理と行動
7月16日 ~ 7月16日	1 日間	三瓶 政美	特養 第2回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	18:00~20:00	飯館村	今後のスケジュールについて
7月16日 ~ 7月16日	1 日間	菅野ゆかり	在介 第2回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	18:00~20:00	飯館村	今後のスケジュールについて
7月24日 ~ 7月24日	1 日間	佐々木裕行	特養 平成27年度第1回法人連絡協議会	田村福祉会	11:00~15:00	法人連絡協議会	現状報告について
7月26日 ~ 7月26日	1 日間	松井なつみ	特養 日本感染管理ハストプラクティス研究会 7/26、9/6、12/19	福島県看護会みらいホールA	10:00~16:00	日本感染管理ハストプラクティス研究会	ワーキンググループを活動を進めるための基礎知識
7月27日 ~ 7月27日	1 日間	三瓶 政美	特養 ※第1回社会福祉施設における安全衛生対策に関する調査研究委員会	建業会館	13:30~16:00	中央労働災害防止協会	調査研究の概要について

8月10日	～	8月10日	1	日間	齋藤ひろみ	保育所	平成27年度保育所給食関連研修	郡山コラククス熱海	10:20～16:00	県社協	乳児の発育と食事
8月21日	～	8月21日	1	日間	井上 祥行	特養	※第3回介護人材確保地域戦略会議	TKP赤坂駅カンファレンスセンター	10:30～11:15	県社協	福島県相双地域等における人材確保の取り組み
8月24日	～	8月24日	1	日間	三瓶 政美	特養	第3回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	15:00～17:00	飯館村	健康・医療・福祉サービスの再開スケジュールについて
8月24日	～	8月24日	1	日間	佐々木裕行	特養	第3回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	15:00～17:00	飯館村	健康・医療・福祉サービスの再開スケジュールについて
8月24日	～	8月24日	1	日間	菅野ゆかり	在介	第3回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	15:00～17:00	飯館村	健康・医療・福祉サービスの再開スケジュールについて
9月2日	～	9月2日	1	日間	三瓶 政美	特養	※福祉避難所ワーキンググループ委員会	日本赤十字社本社	15:00～16:30	日本赤十字社援護・福祉部	避難所の確保と質の向上に関する検討会
9月2日	～	9月4日	3	日間	高池タミ子	特養	平成27年度福祉職員キャリアパス対応生進課程チームリーダー研修	県社協	9:15～15:40	県社協	チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理
9月3日	～	9月3日	1	日間	小林 明美	特養	高齢者虐待対応に関する研修会	福島県農業総合センター	13:30～16:45	保健福祉部高齢福祉課	高齢者虐待防止法の概要について
9月3日	～	9月3日	1	日間	舩沢 敏恵	特養	高齢者虐待対応に関する研修会	福島県農業総合センター	13:30～16:45	保健福祉部高齢福祉課	高齢者虐待防止法の概要について
9月3日	～	9月3日	1	日間	菅野 若菜	特養	高齢者虐待対応に関する研修会	福島県農業総合センター	13:30～16:45	保健福祉部高齢福祉課	高齢者虐待防止法の概要について
9月6日	～	9月6日	1	日間	松井なつみ	特養	日本感染管理ベストプラクティス研究会 7/26、9/6、12/19	福島県看護会館みらい みらいホールA	13:00～16:30	日本感染管理ベストプラクティス研究会	ワーキンググループを活動を進めるための基礎知識
9月7日	～	9月7日	1	日間	三瓶政美	特養	福島県保健福祉部社会福祉課との懇談会	南相馬市社協	14:00～	相馬地方に介護福祉士養成校をつくる会	相馬地方に介護福祉士養成校をつくる懇談会
9月7日	～	9月8日	2	日間	佐藤智恵子	特養	平成27年度キャリアパス制度再構築研修	ザ・セレクトン福島	12:50～16:00	県社協	キャリアパスの活用事例他
9月14日	～	9月14日	1	日間	北里真由美	特養	社会福祉施設栄養士研修	郡山コラククス熱海	10:30～16:00	県社協	福祉施設栄養士のためのリスキーマネジメント等
9月16日	～	9月18日	3	日間	本名 順子	特養	平成27年度福祉職員キャリアパス対応生進課程チームリーダー研修	県社協	9:15～15:40	県社協	チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理
9月18日	～	9月18日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第4回正副会長・委員長会議(拡大)	塩崎ビル	13:30～16:00	全国老協	情勢分析、各委員会事業の進捗について
9月18日	～	9月18日	1	日間	菅野 若菜	特養	機能訓練担当者研修	会津若松ワシントンホテル	9:45～15:30	県社協	集団体験の意味と効果
9月25日	～	9月25日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第2回復興委員会	ザ・セレクトン福島	10:30～	県社協	避難及び再開施設の現状について
9月25日	～	9月25日	1	日間	佐々木裕行	特養	第4回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	10:00～12:00	飯館村	クリニック再開を中心とした課題の検討について他
9月25日	～	9月25日	1	日間	菅野ゆかり	在介	第4回健康・福祉・医療再開準備検討委員会	飯野町役場	10:00～12:00	飯館村	クリニック再開を中心とした課題の検討について他
9月28日	～	9月28日	1	日間	北里真由美	特養	平成27年度相双地区特定給食施設等講習会	鹿島区農業改善センター	14:00～16:00	相双地区集団給食研究会	食品衛生について他
10月1日	～	10月2日	2	日間	木幡 佳代	特養	平成27年度職場研修担当職員研修	県社協	9:30～16:30	県社協	これからの福祉人材育成と職場研修
10月5日	～	10月7日	3	日間	三瓶 政美	特養	※平成27年度全国老人福祉施設研究会議(山形会議)	山形ビッグウイング	15:00～15:30	全国老協	福祉の魅力を発信する方法～本質は現場にある～
10月6日	～	10月7日	2	日間	高橋真由美	特養	平成27年度全国老人福祉施設研究会議(山形会議)	山形ビッグウイング	12:00～15:30	全国老協	福祉の魅力を発信する方法～本質は現場にある～
10月6日	～	10月7日	2	日間	菅野奈津江	特養	平成27年度全国老人福祉施設研究会議(山形会議)	山形ビッグウイング	12:00～15:30	全国老協	福祉の魅力を発信する方法～本質は現場にある～
10月15日	～	10月15日	1	日間	松井なつみ	特養	保育所・施設における感染症予防研修会	鹿島区農業改善センター	10:15～15:00	相双保健福祉事務所	予防から発生時の対応について
10月15日	～	10月15日	1	日間	菅野ミサ子	特養	保育所・施設における感染症予防研修会	鹿島区農業改善センター	10:15～15:00	相双保健福祉事務所	予防から発生時の対応について
10月15日	～	10月15日	1	日間	高野 祥子	保育所	保育所・施設における感染症予防研修会	鹿島区農業改善センター	10:15～15:00	相双保健福祉事務所	予防から発生時の対応について
10月15日	～	10月15日	1	日間	嶋原やすえ	特養	第69回福島県社会福祉大会	会津風雅堂	12:00～16:00	県社協	福祉大会永年勤続表彰等
10月16日	～	10月16日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第2回福祉避難所ワーキンググループ委員会	日本赤十字社本社	13:30～15:30	日本赤十字社援護・福祉部	避難所の確保と質の向上に関する検討会 第1回の振り返り他
10月22日	～	10月22日	1	日間	菅野ミサ子	特養	平成27年度県老協老人医療担当職員研修会	グランドエクスシブ那須白河	10:00～15:45	県老協	看取りにおける看護職員の役割他
10月22日	～	10月22日	1	日間	菅野 若菜	特養	平成27年度県老協老人医療担当職員研修会	グランドエクスシブ那須白河	10:00～15:45	県老協	看取りにおける看護職員の役割他
10月22日	～	10月22日	1	日間	木幡 佳代	特養	第12回福祉関係者のための成年後見活用講座	郡山総合福祉センター	10:00～16:00	福島県社会福祉士会	日常生活自立支援事業と成年後見他
10月25日	～	10月25日	1	日間	舩沢 達怡	特養	平成27年度介護対応研修	福島県看護会館みらい みらいホールA	13:00～16:30	福島県歯科医師会	高齢者の摂食嚥下機能の理解と障害への対応
10月25日	～	10月25日	1	日間	佐野 文子	特養	平成27年度介護対応研修	福島県看護会館みらい みらいホールA	13:00～16:30	福島県歯科医師会	高齢者の摂食嚥下機能の理解と障害への対応
10月26日	～	10月27日	2	日間	佐藤 友美	特養	平成27年度福島県老人施設協議会介護職員(4年未満)研修	県社協	13:30～11:30	県社協	これからの高齢者ケアを考えてみよう
10月27日	～	10月28日	2	日間	木幡 佳代	特養	平成27年度県老協生活相談員研修	御宿東風	13:30～11:45	県社協	社会福祉法人の改革について～地域貢献の意義～
10月30日	～	10月30日	1	日間	木幡 佳代	特養	平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修応用編	郡山コラククス熱海	10:00～16:40	県社協	安全配慮義務について他
10月30日	～	10月30日	1	日間	菅野ゆかり	在介	平成27年度福祉サービスに関する苦情解決研修応用編	郡山コラククス熱海	10:00～16:40	県社協	安全配慮義務について他
10月30日	～	10月30日	1	日間	三瓶 政美	特養	平成27年度社会福祉法人監事研修	ビッグハレットふくしま	12:20～16:00	県社協	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査のポイント
10月30日	～	10月30日	1	日間	山田 義忠	特養	平成27年度社会福祉法人監事研修	ビッグハレットふくしま	12:20～16:00	県社協	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査のポイント
10月30日	～	10月30日	1	日間	大谷美恵子	特養	平成27年度社会福祉法人監事研修	ビッグハレットふくしま	12:20～16:00	県社協	新社会福祉法人会計基準に伴う監事監査のポイント

11月1日	～	11月1日	1	日間	三瓶 政美	特養	※福島県外における就職フェア（名古屋・仙台・東京・大阪）	東京メインダイニング	11:00～17:00	県社協	就職フェア4都市開催
11月2日	～	11月2日	1	日間	三瓶 政美	特養	福島県社会福祉協議会BCPモデルプラン作成作業部会	県社協	9:30～	県社協	BCPモデルプラン作成作業部会
11月4日	～	11月6日	3	日間	浦住すみい	在介	平成27年度介護支援専門員専門研修Ⅱ（2回目更新）	ビッグハレットふくしま	10:00～17:00	県介護支援専門員協会	介護支援専門員の課題
11月5日	～	11月5日	1	日間	三瓶 政美	特養	平成27年度相双地域障がい者就職面接会	フローラ相馬	13:30～16:00	相双公共職業安定所	ブースを設け、障がい者が持参するエントリーシートを基に、個別面接
11月8日	～	11月8日	1	日間	三瓶 政美	特養	※福島県外における就職フェア（名古屋・仙台・東京・大阪）	ビックステップ	11:00～17:00	県社協	就職フェア4都市開催
11月9日	～	11月9日	1	日間	三瓶 政美	特養	平成27年度社会福祉法人理事研修	郡山ユラックス熱海	13:30～16:00	県社協	今、社会福祉法人に求められるもの
11月9日	～	11月9日	1	日間	佐藤 真弘	特養	平成27年度社会福祉法人理事研修	郡山ユラックス熱海	13:30～16:00	県社協	今、社会福祉法人に求められるもの
11月10日	～	11月10日	1	日間	三瓶 政美	特養	※全国大会実行委員会（拡大）	品川プリンスホテル	13:30～16:00	全国老施協	社会保険を構想する他
11月11日	～	11月13日	3	日間	三瓶 政美	特養	※全国老人福祉施設大会（東京大会）	両国国技館	11:00～11:45	全国老施協	財政学から社会保険を構想する他
11月13日	～	11月13日	1	日間	三瓶 政美	特養	※平成27年度指導監査対応室「全国担当者会議」	第一ホテル両国	13:30～17:00	全国老施協	組織体制の構築と今後の活動について
11月18日	～	11月18日	1	日間	横山 啓子	特養	年末調整説明会	ゆめはっと	13:30～15:30	相馬税務署	年末調整のしかた他
11月27日	～	11月27日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第3回福祉避難所ワーキンググループ委員会	日本赤十字社本社	13:30～15:30	日本赤十字社援護・福祉部	第2回の振り返り、親検討会への報告内容の確認
12月7日	～	12月7日	1	日間	佐々木裕行	特養	制度対応セミナー社会福祉法人のためのマイナンバー	ビッグハレットふくしま	13:30～16:30	県社協	マイナンバー制度の概要
12月7日	～	12月7日	1	日間	木幡 佳代	特養	制度対応セミナー社会福祉法人のためのマイナンバー	ビッグハレットふくしま	13:30～16:30	県社協	マイナンバー制度の概要
12月7日	～	12月7日	1	日間	横山 啓子	特養	制度対応セミナー社会福祉法人のためのマイナンバー	ビッグハレットふくしま	13:30～16:30	県社協	マイナンバー制度の概要
12月10日	～	12月11日	1	日間	高野 智子	特養	平成27年度東北ブロックカンントリーミーティング in 福島	ザ・セレクトンホテル福島	13:30～11:50	県社協	介護保険制度の見直し及び介護報酬改定への対応
12月10日	～	12月11日	1	日間	三瓶 政美	特養	平成27年度東北ブロックカンントリーミーティング in 福島	ザ・セレクトンホテル福島	13:30～11:50	県社協	介護保険制度の見直し及び介護報酬改定への対応
12月10日	～	12月11日	1	日間	佐藤 祐子	特養	平成27年度東北ブロックカンントリーミーティング in 福島	ザ・セレクトンホテル福島	13:30～11:50	県社協	介護保険制度の見直し及び介護報酬改定への対応
12月14日	～	12月14日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第2回社会福祉施設における安全衛生対策に関する調査研究委員会	産業安全会館	9:30～12:00	中央労働災害防止協会	アンケート調査中間報告他
1月12日	～	1月12日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第9回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	14:00～16:30	全国老施協	情報分析、各委員会事業の進捗について等
1月15日	～	1月15日	1	日間	三瓶 政美	特養	相馬地方に介護福祉養成学科をつくる会三者懇談会	福島県庁	10:30～	相馬地方に介護福祉養成学科をつくる会	相馬地方選出県議と県社協福祉課、商工労働部と懇談会
1月19日	～	1月19日	1	日間	佐藤 恵	保育所	平成27年度保育所等を対象とした食の指導者育成研修会	相双保健福祉事務所	14:00～16:00	相双保健福祉事務所	食を通じた乳幼児期の口腔の発達について
2月1日	～	2月1日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第2回総務・組織委員会	塩崎ビル	10:00～11:00	全国老施協	平成27年度事業進捗状況について
2月1日	～	2月1日	1	日間	三瓶 政美	特養	第4回「福祉避難所」ワーキンググループ委員会	日本赤十字社本社	13:30～15:00	日本赤十字社	第3回の振り返り、福祉避難所設置・運営に関する新ガイドライン（案）について
2月18日	～	2月18日	1	日間	佐々木裕行	特養	第2回総会及び施設長・事務長合同研修	八幡屋	13:30～11:30	県老施協	2025社会保険大改革は民の力で他
2月26日	～	2月26日	1	日間	三瓶 政美	特養	※第10回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	14:00～16:30	全国老施協	情報分析、各委員会事業の進捗について等
2月29日	～	2月29日	1	日間	三瓶 政美	特養	第3回社会福祉施設における安全衛生対策に関する調査研究委員会	塩崎ビル	14:30～17:00	全国老施協	アンケート集計結果報告、報告書（案）について
3月9日	～	3月9日	1	日間	三瓶 政美	特養	平成27年度福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会	ビッグハレットふくしま	13:00～14:45	県社協	平成27年度事業中間報告及び収入支出補正予算（案）について他
3月9日	～	3月9日	1	日間	三瓶 政美	特養	平成27年度福祉人材確保推進セミナー	ビッグハレットふくしま	15:00～16:30	県社協	社会福祉法人の未来と将来のための人材を人財に変える法人経営
3月9日	～	3月9日	1	日間	三瓶 政美	特養	改正社会福祉法対応 会計監査人監査セミナー	ビッグハレットふくしま	16:45～18:00	県社協	社会福祉法人の未来と将来のための人材を人財に変える法人経営
3月18日	～	3月18日	1	日間	佐々木裕行	特養	飯館村介護保険運営協議会	飯館村役場飯野出張所	16:00～	飯館村役場飯野出張所	介護保険運営状況について
3月23日	～	3月23日	1	日間	三瓶 政美	特養	第11回正副会長・委員長会議（拡大）	塩崎ビル	10:00～12:00	全国老施協	情報分析、各委員会事業の進捗について等
3月23日	～	3月23日	1	日間	三瓶 政美	特養	第3回そのだ修光後援会代表者会議	都市センターホテル	13:00～14:30	全国老施協	現在までの進捗状況と今後の活動について
3月23日	～	3月23日	1	日間	三瓶 政美	特養	第22回総会	都市センターホテル	15:00～17:00	全国老施協	代議員及び予備代議員の選任について
合 計								58研修	延べ116名参加		